SONY

3-084-861-**02**(1)

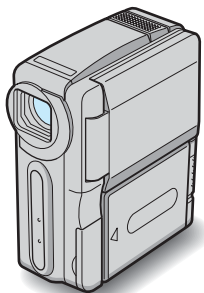
カメラ編

取扱説明書

はじめにお読みください

デジタルビデオカメラレコーダー

HANDYCAM

DCR-IP1K

MICRO MV

⚠警告 **電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。**
この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

はじめにお読みください

お買い上げいただきありがとうございます。

本機はMICROMVカセットのみご使用になれます

本機はMICROMV（マイクロエムブイ）方式のビデオカメラレコーダーです。本機ではマイクロカセットメモリーを搭載したMICROMVカセットのみご使用になれます。

MICROMVとは

- DV（デジタルビデオ）と同等の高画質で、約60分間の記録、再生ができます。
- MICROMVのカセットには、すべてマイクロカセットメモリーを搭載しています。本機は、このマイクロカセットメモリーを使った、見たい場面へ手軽にアクセスできる機能（マルチ画面サーチ）を搭載しています。
- データの圧縮方式は、BSデジタル放送やDVDで採用されている「MPEG2」方式です。本機では、より高画質な12Mbpsのビットレートで記録しています。
- つなぎ撮り部分が静止画になりますが、故障ではありません。

MICROMVカセットには マークが付いています。

本機で使える“メモリースティック”について

本機は、標準の“メモリースティック”の約半分の大きさの“メモリースティック　デュオ”のみ使えます（92ページ）。

“メモリースティック　デュオ”には MEMORY STICK DUO マークがついています。

録画・録音について

- 必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- 万一、ビデオカメラレコーダーや記録メディアなどの不具合により記録や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

液晶パネル、およびレンズについて

- 液晶パネルは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れる、または白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されませんので安心してお使いください。
- 液晶パネルやレンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。
- 直接太陽を撮影しないでください。故障の原因になります。夕暮れ時の太陽など光量の少ない場合は撮影できます。

他機との接続についてのご注意

USBケーブルやi.LINKケーブルなどで本機とビデオやパソコンなどをつなぐ場合、端子の向きを確認してつないでください。無理に押し込むと、端子部が破損することがあります。また、本機の故障の原因となります。

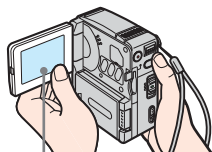
本書について

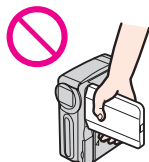
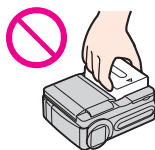
- 液晶パネルの映像を説明するのにスチルカメラによる写真を使っています。実際に見えるものとは異なります。

電波障害自主規制について

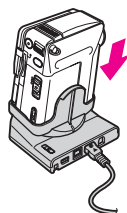
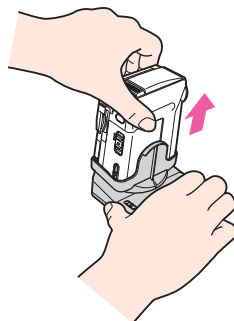
本機の扱いかたについて

- 本機は図のようにハンドストラップに手を通してお持ちください。

- レンズ部分に指が触れないようにしてください。
- タッチパネルは、液晶パネルの背面を手で支えながら、画面上のボタンに指で軽くタッチして（触れて）使ってください。

液晶画面のボタンをタッチ

- 次の部分をつかんで持ち上げないでください。

液晶パネル

バッテリー

ハンディカムステーションの扱いかたについて

- 取り付けるときは、図の向きに本機を取り付けてください。本機を奥まで確実に入れてください。

- 取り外すときは、図のように本機とハンディカムステーションを持って取り外してください。

ご注意

- ACアダプターをハンディカムステーションから抜くときは、DCプラグとハンディカムステーションを持って取り外してください。
- 本機をハンディカムステーションに取り付けたり、取り外すときは、必ず本機の電源を切ってください。
- 端子カバーが開いていると、ハンディカムステーションに正しく取り付けられないことがあります。

目次

テープだけで使える機能です。
"メモリースティック　デュオ"だけで使える機能です。

早分かりガイド

準備する

撮る

見る

次のページへつづく➡

目次（つづき）

進んだ使いかた

メニューで設定する

ダビングや編集をする

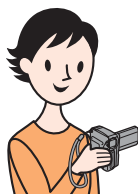
困ったときは

その他

各部のなまえ・索引

本機の他の説明書もご覧ください。

- パソコンで編集する ⇨パソコン編

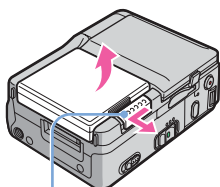
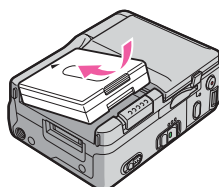
  ⇨MovieShaker編

早分かりガイド

テープに動画を撮る

1 充電されたバッテリーを取り付ける。

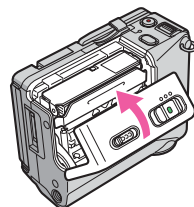
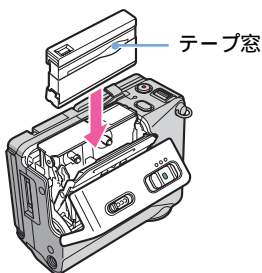
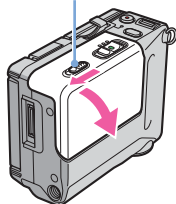
充電のしかたは13ページ

❶ **BATT（バッテリー取り外し）つまみをずらしながら、バッテリー端子カバーを取り外す。**

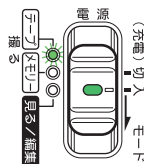
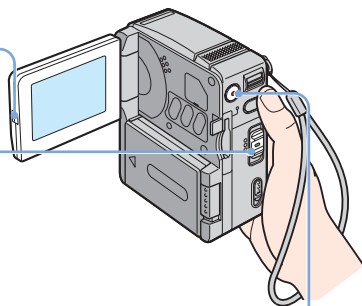
❷ **バッテリーの端子側を本体に合わせ、カチッというまでしっかりはめる。**

2 カセットを入れる。

❶ **開く/カセット取出しつまみを矢印の方向へずらしてから、カセットカバーを開ける。**
カセット入れが自動的に出てきます。

❷ **テープ窓をカセットカバー側に向けて、カセットの背の中央部を押して入れる。**

❸ **カセットカバーでカセット入れを軽く押す。**
カセット入れが自動的に収納されたら、カセットカバーを閉める。

3　液晶画面を見ながら撮影する。

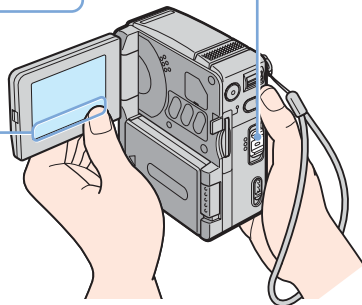
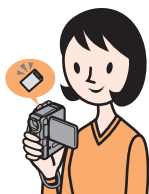
お買い上げ時には日付・時刻の設定がされていません。⇨設定のしかたは17ページ

❶ **液晶パネルを開ける。**

❷ **緑のボタンを押しながら、電源スイッチを下にずらし、撮る-テープランプを点灯させる。**
電源が入り、レンズカバーが開きます。

❸ **スタート/ストップボタンを押す。**
撮影が始まります。
もう一度押すと止まってスタンバイ（撮影待機）になります。

4　液晶画面で見る。

❶ **電源スイッチを繰り返し下にずらし、見る/編集ランプを点灯させる。**
レンズカバーが閉まります。

❷ **◀◀（巻戻し）をタッチして、巻き戻す。**

❸ **▶ ‖（再生）をタッチして、再生する。**
■ を押すと再生が止まります。

電源を切るには電源スイッチを上にずらして「（充電）切」にします。

早分かりガイド

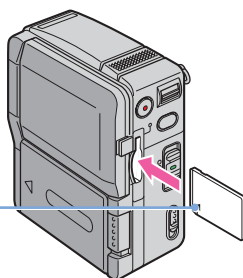
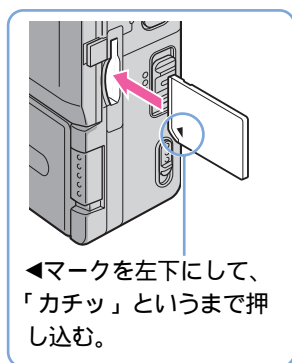
“メモリースティック　デュオ”に静止画を撮る

1　充電されたバッテリーを取り付ける。

充電のしかたは13ページ

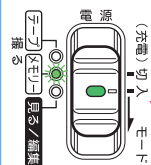
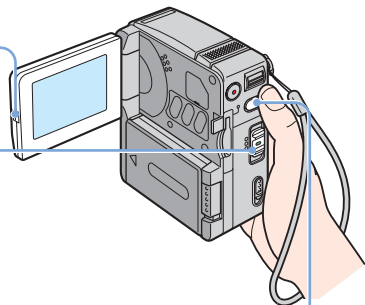
❶ BATT（バッテリー取り外し）つまみをずらしながら、バッテリー端子カバーを取り外す。

❷ バッテリーの端子側を本体に合わせ、カチッというまでしっかりはめる。

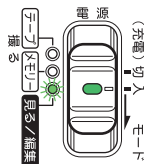
2　“メモリースティック　デュオ”を入れる。

3 液晶画面を見ながら撮影する。

お買い上げ時には日付・時刻の設定がされていません。⇨設定のしかたは17ページ

❶ **液晶パネルを開ける。**

❷

緑のボタンを押しながら、電源スイッチを繰り返し下にずらし、撮る-メモリーランプを点灯させる。
電源が入り、レンズカバーが開きます。

❸ **フォトボタンを軽く押す。**
「ピピッ」と鳴ってピントが合います。

❹ **フォトボタンを深く押す。**
「カシャッ」というシャッター音とともに静止画が記録されます。

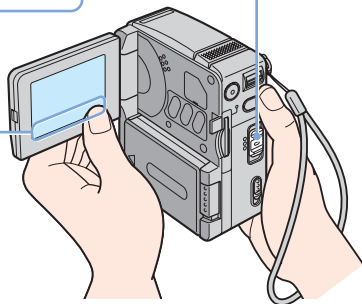
4 液晶画面で見る。

❶

電源スイッチを繰り返し下にずらし、見る/編集ランプを点灯させる。
レンズカバーが閉まります。

❷ **[再生] をタッチする。**
最後に撮影した画像が表示されます。

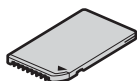
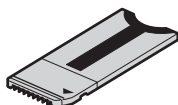
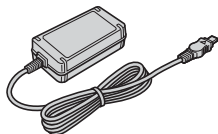
[再生] [◀◀] [▶ II] [▶▶] [P.メニュー]

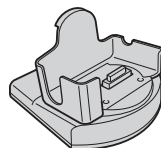
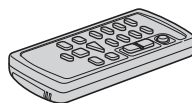
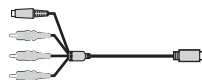
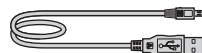
❸ **[＋]（次の画像）や[－]（前の画像）をタッチして、画像を順々に見ていく。**

[－] [＋] [ ] [ ] [P.メニュー]

電源を切るには電源スイッチを上にずらして「（充電）切」にします。

準備1　付属品を確かめる

箱を開けたら、本機のほかに次の物がそろっているか確認してください。
（　）内は個数を表します。

“メモリースティック　デュオ”8MB（1）
本機は、標準の“メモリースティック”の約半分の大きさの“メモリースティック　デュオ”のみ使えます（92ページ）。

メモリースティック　デュオ　アダプター（1）
“メモリースティック　デュオ”をメモリースティック　デュオ　アダプターに挿入すると、標準の“メモリースティック”対応機器でもご使用になれます。

ACアダプター（1）

電源コード（1）

ハンディカムステーション　DCRA-C100（1）

ワイヤレスリモコン（1）
ボタン型リチウム電池があらかじめ取り付けられています。

AV接続ケーブル（1）

USBケーブル（1）

ハンドストラップ（1）
本機にあらかじめ取り付けられています。

リチャージャブルバッテリーパック NP-FF51（1）
バッテリーパックNP-FF51のシルバー色は非売品です。

バッテリー端子カバー（1）
本機にあらかじめ取り付けられています。

CD-ROM「SPVD-010 USBドライバー」（1）

CD-ROM「MovieShaker Ver.3.1 for MICROMV」（1）

クリーニングクロス（1）

カメラ編　説明書 <本書>　（1）

パソコン編　説明書　（1）

MovieShaker編　説明書（1）

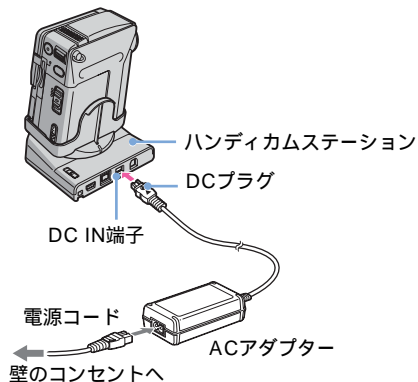
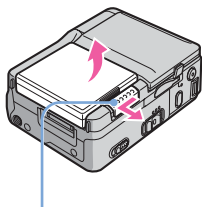
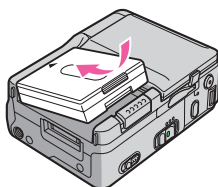
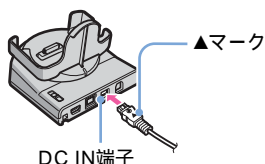
安全のために（1）

保証書（1）

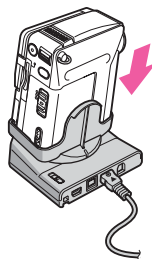
準備2　バッテリーを充電する

専用の“**インフォリチウム**”**バッテリー（Fシリーズ）**を本機に取り付けて充電します。

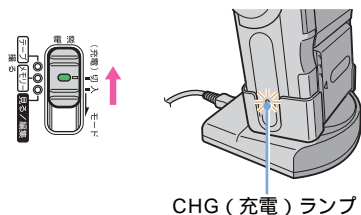
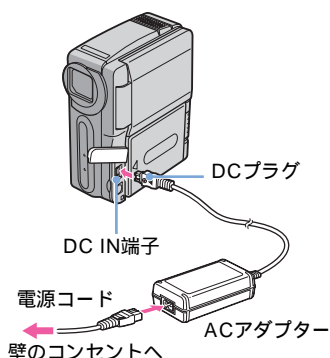
ご注意

- “インフォリチウム”バッテリー（Fシリーズ）（94ページ）以外のバッテリーは使えません。
- ACアダプターのDCプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。
- ACアダプターは手近なコンセントを使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。

1　BATT（バッテリー取り外し）つまみをずらしながら、バッテリー端子カバーを取り外す。

2　バッテリーの端子側を本体に合わせ、カチッというまでしっかりはめる。

3　DCプラグの▲マークを上にして、ACアダプターをハンディカムステーションのDC IN端子につなぐ。

4　電源コードをACアダプターにつなぐ。

5　電源コードをコンセントにつなぐ。

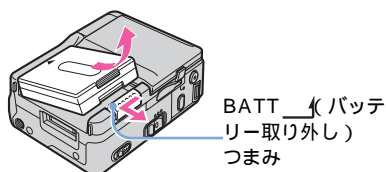
6　本機をハンディカムステーションに取り付ける。

7　電源スイッチを「（充電）切」にする。

次のページへつづく➡

CHG（充電）ランプが点灯し、充電が始まります。

◆ACアダプターのみで充電するには

旅先などでハンディカムステーションがなくてもバッテリーを充電することができます。DCプラグの▲マークを手前にして、本機のDC IN端子とACアダプターをつないで充電してください。

◆充電が終わると

CHG（充電）ランプが消えます（満充電）。ACアダプターをDC IN端子から抜いてください。

◆バッテリーを取り外すには

1 電源スイッチを「(充電）切」にする。

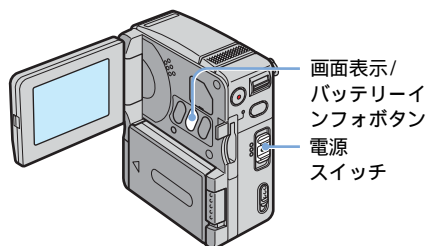
2 BATT（バッテリー取り外し）つまみをずらしながら、バッテリーを取り外す。

保管するときは

本機のバッテリー端子を保護するため、バッテリー端子カバーを取り付けてください。長い間使わないときは、バッテリーを使いきってから保管してください。保管方法について、詳しくは95ページをご覧ください。

ご注意

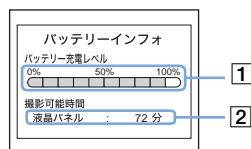
- 取り外すときは、バッテリーが落下しないように手で支えながら取り外してください。

◆バッテリーの残量を確認するには ― バッテリーインフォ

充電中や電源を切った状態でバッテリーの充電レベルとそのレベルで撮影可能な時間を確認できます。

1 電源スイッチを「(充電）切」にする。

2 液晶パネルを開ける。

3 画面表示/バッテリーインフォボタンを押す。

バッテリーの情報を約7秒間表示します。押し続けると、約20秒間表示します。

1 バッテリー充電レベル：およそのバッテリー残量

2 およその撮影可能時間

◆充電時間

使い切ったバッテリーを25℃（10～30℃が推奨）で充電したときのおよその時間(分)です。

バッテリー型名	
NP-FF50	120
NP-FF51（付属）	130
NP-FF70	150
NP-FF71	170

◆撮影可能時間

満充電のバッテリーを使用して25℃で撮影したときのおよその時間(分)です。

液晶画面バックライトが「入」のとき

バッテリー型名	連続撮影時	実撮影時*
NP-FF50	70	40
NP-FF51（付属）	80	45
NP-FF70	155	90
NP-FF71	170	100

液晶画面バックライトが「切」のとき

バッテリー型名	連続撮影時	実撮影時*
NP-FF50	75	40
NP-FF51（付属）	85	50
NP-FF70	160	95
NP-FF71	170	100

* 録画やスタンバイ、電源スイッチの切り換え 、ズームなどを繰り返したときの時間で、実際にはこれよりも短くなることがあります。

◆再生可能時間

満充電のバッテリーを使用して25℃で再生したときのおよその時間(分)です。

バッテリー型名	液晶パネルで再生*
NP-FF50	80
NP-FF51（付属）	90
NP-FF70	170
NP-FF71	180

* 液晶画面バックライトが「入」のとき

ご注意

- 電源コードをコンセントから抜いてもACアダプターが本機のDC IN端子につながれている限り、バッテリーからは電源供給されません。
- 低温の場所で使うと、撮影・再生時間はそれぞれ短くなります。
- 次のとき、充電中のCHG（充電）ランプが点滅する、またはバッテリーインフォが正しく表示されないことがあります。
  - バッテリーを正しく取り付けていないとき
  - バッテリーが故障しているとき
  - バッテリーが消耗しているとき（バッテリーインフォ表示のみ）

コンセントにつないで使うときは

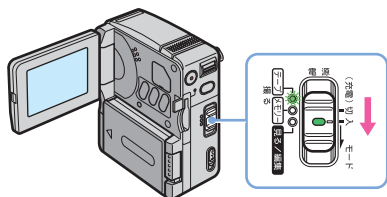
バッテリーが切れることを心配しないで使えます。また、バッテリーを取り付けたまま使っても、バッテリー自体は消耗しません。

「バッテリーを充電する」（13ページ）と同じ方法で接続して使う。

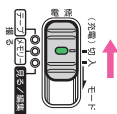
準備3　電源スイッチを入れる

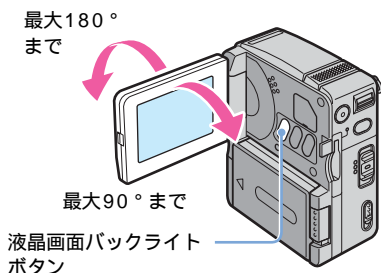
撮影や再生をするときは、電源スイッチをそれぞれの電源モードに切り換えます。
初めて電源を入れたときは、[日時あわせ]画面が表示されます（17ページ）。

緑のボタンを押しながら、電源スイッチを矢印の方向にずらす。

電源が入ります。
撮影や再生をするときは、該当のランプが点灯するまで、電源スイッチを繰り返し矢印の方向にずらして、電源モードを切り換えます。
「撮る-テープ」または「撮る-メモリー」にしたときは、レンズカバーが開きます。

- 「撮る-テープ」：テープ撮影するとき
- 「撮る-メモリー」：“メモリースティック デュオ”撮影するとき
- 「見る/編集」：テープや“メモリースティック　デュオ”の画像を再生・編集するとき

◆電源を切るには

電源スイッチを上にずらして「（充電）切」にする。レンズカバーが閉まります。

準備4　液晶画面を見やすく調節する

液晶パネルは使用状況にあわせて見やすい角度や明るさに調節できます。運動会などで被写体が人垣の向こう側で見えないときでも、パネルの角度を変えれば映像を液晶画面で確認しながら撮影できます。

90°に開ききった状態で、好みの角度に調節する。

◆液晶画面の明るさを調節するには

1 [P.メニュー] をタッチする。
2 ［パネル明るさ］をタッチする。
画面にないときは[⌃]/[⌄]をタッチして、表示させます。見つからないときは、メニューをタッチして（基本設定）メニューの［パネル設定］から選びます。
3 [－]/[＋]をタッチして調節し、[OK]をタッチする。

ちょっと一言

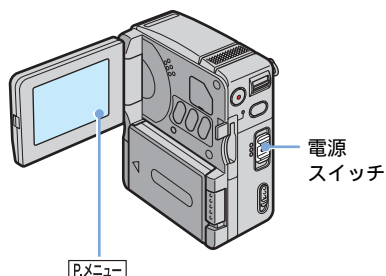
- 液晶画面の明るさを変えても、録画される画像に影響はありません。
- 液晶画面をレンズ側に180°回転させると、外側に向けて本体に収められます。再生時に便利です。
- バッテリー使用時は、（基本設定）メニューの［パネル設定－パネルバックライトレベル］（62ページ）でも調節できます。
- 屋外などの明るい場所で使うときは、液晶画面バックライトを「切」にすると、バッテリーを長持ちさせることができます。

• (基本設定）メニューの［お知らせブザー］を［切］にすると、タッチパネルなどの操作音を消すことができます（64ページ）。

準備5　時計を合わせる

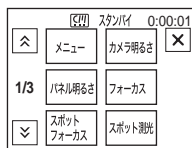
本機を初めて使うときは日付・時刻を設定してください。設定しないと、電源を入れるたびに［日時あわせ］画面が表示されます。

ご注意

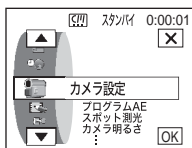
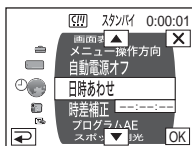
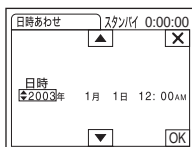
• **3ヶ月**近く使わないでおくと内蔵の充電式ボタン電池が放電して、日付・時刻の設定が解除されることがあります。その場合、充電式ボタン電池を充電してから設定し直してください（99ページ）。

1　電源を入れる（16ページ）。

2　液晶パネルを開ける。

初めて時計を合わせるときは、手順７に進んでください。

3　P.メニュー をタッチする。

4　［メニュー］をタッチする。

次のページへつづく➡

準備する

5 ▲/▼で(時間設定)メニューを選び、OKをタッチする。

6 ▲/▼で［日時あわせ］を選び、OKをタッチする。

7 ▲/▼で［年］を合わせ、OKをタッチする。

2079年まで設定できます。

8 手順7と同様に［月］、［日］、時、分を合わせてOKをタッチする。

真夜中は12:00:00AM、正午は12:00:00PMとなります。

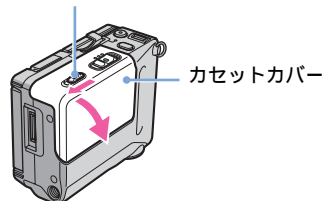
準備6 カセット・"メモリースティック デュオ"を入れる

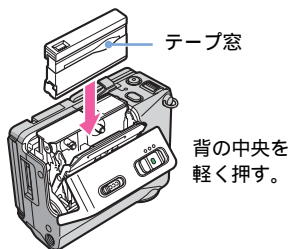
カセットを入れる

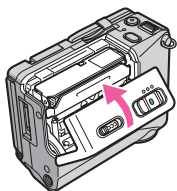
MICROMV マークのついたMICROMVカセットのみ使えます。誤消去防止方法など、カセットについてより詳しくは、91ページをご覧ください。

ご注意

- カセット入れを無理に押し込まないでください。故障の原因になります。

1 開く/カセット取出しつまみを矢印の方向にずらしたまま、カセットカバーを開ける。

カセット入れが自動的に出て開きます。

2 テープ窓をカセットカバー側に向けて、カセットを入れる。

3 **カセットカバーでカセット入れを軽く押して閉める。**

カセット入れが自動的に収納されます。

4 **カセットカバーを手で閉める。**

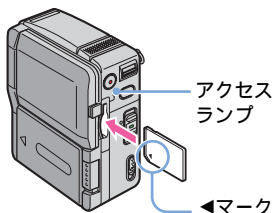
◆カセットを取り出すには

1 開く/カセット取出しつまみをずらしたまま、カセットカバーを開ける。
カセット入れが自動的に出てきます。
2 カセットを取り出す。
3 カセットカバーでカセット入れを軽く押して閉める。
カセット入れが自動的に収納されます。
4 カセットカバーを手で閉める。

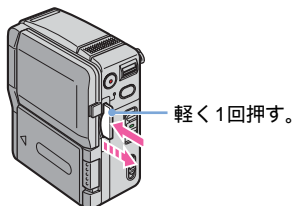
“メモリースティック　デュオ”を入れる

誤消去防止の方法や取り扱いなど“メモリースティック　デュオ”についてより詳しくは、92ページをご覧ください。

ご注意

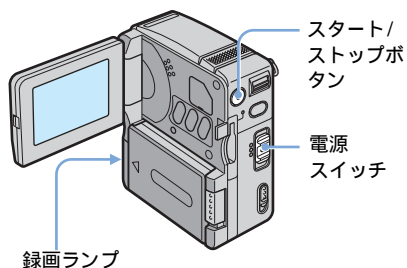
- 本機は、標準の“メモリースティック”の約半分の大きさの“メモリースティック　デュオ”のみ使えます（92ページ）。それ以外のサイズの“メモリースティック”を無理に入れないでください。

◀マークを左下にして、「カチッ」というまで押し込む。

◆“メモリースティック　デュオ”を取り出すには

“メモリースティック　デュオ”を軽く１回押して取り出す。

ご注意

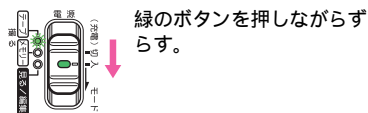
- 逆向きで無理に入れると、“メモリースティック”スロットが破損することがあります。
- “メモリースティック”スロットには“メモリースティック　デュオ”以外は入れないでください。故障の原因となります。
- アクセスランプ点灯中および点滅中はデータの読み込み、または書き込みを行っています。本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、“メモリースティック　デュオ”やバッテリーを取り外したりしないでください。画像データが壊れることがあります。

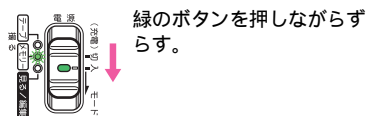
動画を撮る

テープにも、“ メモリースティック　デュオ ” にも動画を撮影できます。あらかじめ準備1～6（12～18ページ）を行っておいてください。
テープに撮影するときはステレオ音声、“ メモリースティック　デュオ ” に撮影（MPEGムービー撮影）するときはモノラル音声になります。

1　液晶パネルを開ける。

2　電源スイッチを切り換える。

テープに撮影するとき
電源スイッチをずらして、撮る-テープランプを点灯させる。
レンズカバーが開きます。スタンバイ（撮影待機）になります。

緑のボタンを押しながらずらす。

“ メモリースティック　デュオ ” に撮影するとき－MPEGムービー AX
電源スイッチを繰り返しずらして、撮る-メモリーランプを点灯させる。
レンズカバーが開きます。選ばれている記録先フォルダが表示されます。

緑のボタンを押しながらずらす。

3　スタート/ストップボタンを押す。

録画が始まり、画面に［●録画］が表示され、録画ランプも点灯します。もう一度押すと、録画が停止します。

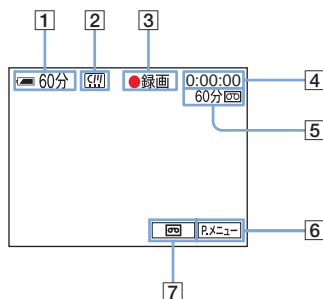
◆最後に撮影したMPEGムービーを確かめるには　－レビュー

をタッチする。
自動的に再生が始まります。
をタッチすると、スタンバイに戻ります。
動画を削除するには再生が終了してから をタッチして、［はい］をタッチします。
取り消すときは、［いいえ］をタッチします。

◆撮影が終わったら

電源スイッチを上にずらして「（充電）切」にする。

◆テープ撮影中の画面表示

画面表示はテープには録画されません。撮影中、日付時刻やカメラデータ（40ページ）は表示されません。

1 バッテリー残量と連続撮影時間の目安
使用状況・環境によっては正しく表示されないことがあります。液晶パネルを開閉したときは

正しい残量時間を表示するまで約1分かかります。

2 **マイクロカセットメモリー表示**

3 **撮影状態（[スタンバイ] または [●録画]）**

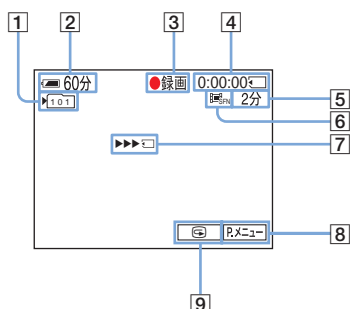
4 **テープカウンター（時：分：秒）**

5 **テープ残量（63ページ）**

6 **パーソナルメニューボタン（45ページ）**

7 **エンドサーチ画面切り換えボタン（34ページ）**

◆“ メモリースティック　デュオ ” 撮影中の画面表示

画面表示は “ メモリースティック　デュオ ” には録画されません。撮影中、日付時刻（40ページ）は表示されません。

1 **記録先フォルダ**

2 **バッテリー残量と連続撮影時間の目安**

使用状況・環境によっては正しく表示されないことがあります。液晶パネルを開閉したときは正しい残量時間を表示するまで約1分かかります。

3 **撮影状態（[スタンバイ] または [●録画]）**

4 **撮影時間（時：分：秒）**

5 **“ メモリースティック　デュオ ” 残量**

6 **録画モード**

7 **“ メモリースティック　デュオ ” 録画開始の表示**

約５秒間表示されます。

8 **パーソナルメニューボタン（45ページ）**

9 **レビューボタン（20ページ）**

ご注意

- バッテリーの交換は、電源スイッチを「(充電) 切」にしてから行ってください。
- お買い上げ時は、何もしない状態が約5分以上続くと、バッテリー消耗防止のため、自動的に電源が切れる設定になっています（[自動電源オフ]、64ページ）。撮影を再開するときは電源スイッチを下にずらして「撮る-テープ」か「撮る-メモリー」を選び、もう一度スタート/ストップボタンを押します。

ちょっと一言

- “ メモリースティック　デュオ ” の容量ごとの録画可能時間については「MPEGムービーの録画モードを選ぶには」（21ページ）をご覧ください。
- 録画日時やカメラデータ（テープのみ）は、表示されないまま自動で記録され、再生時に［データコード］を設定すると見ることができます（40ページ）。

MPEGムービーの録画モードを選ぶには

（メモリー設定）メニューの［ムービー設定］で［録画モード］を設定できます。各モードについて、詳しくは52ページをご覧ください。

録画モードの設定や撮影の状況で、撮影時間が異なります。次の表は、本機でフォーマットした “ メモリースティック　デュオ ” に記録できる時間の目安です。

[スーパーファイン] の録画時間（時：分：秒）

画像サイズは352 × 240。
フレームレートは30 fps（フレーム/秒）。
ビットレート（画像＋音声）は約1200 kbpsです。

	352 × 240 SFN
8MB（付属）	00:00:45
16MB	00:01:30
32MB	00:03:20
64MB	00:06:50
128MB	00:13:00
256MB （MSX-M256）	00:25:00
512MB （MSX-M512）	00:51:00

次のページへつづく➡

[ファイン]の録画時間(時：分：秒)

画像サイズは352 × 240。
フレームレートは30 fps(フレーム/秒)。
ビットレート(画像+音声)は約750 kbpsです。

	352 × 240 FINE
8MB(付属)	00:01:10
16MB	00:02:30
32MB	00:05:20
64MB	00:11:00
128MB	00:22:00
256MB (MSX-M256)	00:40:00
512MB (MSX-M512)	01:20:00

[スタンダード]の録画時間(時：分：秒)

画像サイズは144 × 96。
フレームレートは10 fps(フレーム/秒)。
ビットレート(画像+音声)は約400 kbpsです。

	144 × 96 STD
8MB(付属)	00:02:20
16MB	00:05:00
32MB	00:10:00
64MB	00:20:00
128MB	00:41:00
256MB (MSX-M256)	01:15:00
512MB (MSX-M512)	02:30:00

[ライト]の録画時間(時：分：秒)

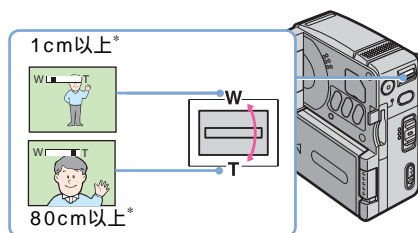
画像サイズは144 × 96。
フレームレートは10 fps(フレーム/秒)。
ビットレート(画像+音声)は約200 kbpsです。

	144 × 96 LIGHT
8MB(付属)	00:04:50
16MB	00:10:00
32MB	00:20:00
64MB	00:41:00
128MB	01:20:00
256MB (MSX-M256)	02:30:00
512MB (MSX-M512)	05:05:00

ちょっと一言

- フレームレートとは、1秒間に扱う静止画の数を表しています。数値が大きいほど、動画の動きはなめらかになります。本機では1秒間に最大30コマの静止画を扱うことができます(30fps/フレームパーセカンド)。
- ビットレートの数字が大きいほど、画像はきれいになります。

ズームする

電源スイッチが「撮る-テープ」のときは10倍を越えると、デジタルズームが働くようにメニューで設定できます([デジタルズーム]、49ページ)。
使いすぎると見づらい画面になるため、効果的にズームしてください。

* ピントが合うのに必要な被写体との距離。

ズームレバーを軽く動かすとゆっくり、さらに動かすと速くズームする。

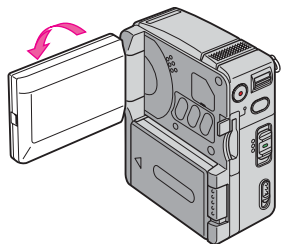
広角にするとき

ズームレバーを「W」の方向へ動かす。
被写体が小さくなります。広角＝Wide(ワイド)。

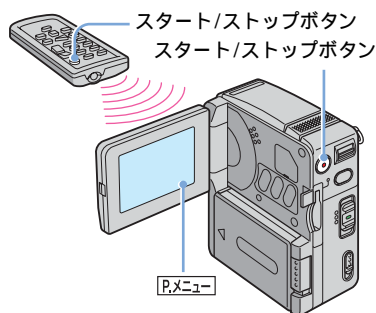
望遠にするとき

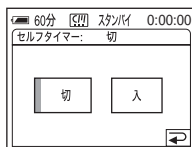
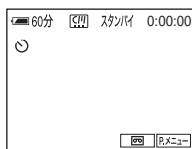
ズームレバーを「T」の方向へ動かす。
被写体が大きくなります。望遠＝Telephoto(テレフォト)。

対面撮影する

撮影者が自分自身を撮影するときなどに使えます。

液晶パネルを90°まで開いてから、180°回転して被写体に向ける。
液晶画面には左右反転で映りますが、実際には左右正しく録画されます。

セルフタイマーを使う

セルフタイマーを使うと、約10秒後に録画を開始できます。

1 **P.メニュー をタッチする。**

2 **［セルフタイマー］をタッチする。**
画面にないときは ⌃ / ⌄ をタッチして表示させます。見つからないときは、メニューをタッチして（カメラ設定）メニューから選びます。

3 **［入］を選び、OK をタッチする。**
が表示されます。

4 **スタート/ストップボタンを押す。**
セルフタイマーの秒読みが始まり、約10秒後に録画が始まります。カウントダウンの表示は８から始まります。録画を中止するには、もう一度スタート/ストップボタンを押します。

◆秒読みを停止するには

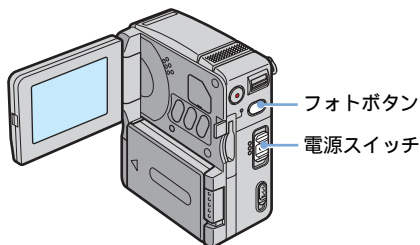
［リセット］をタッチする、またはスタート/ストップボタンをもう一度押す。

◆セルフタイマーを解除するには

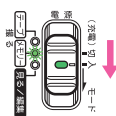
手順1、２を行い、手順３で［切］をタッチする。

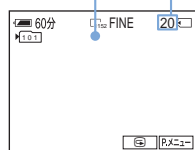
静止画を撮る

―メモリーフォト撮影

“ メモリースティック　デュオ ” に静止画を記録できます。あらかじめ準備1～6（12～18ページ）を行っておいてください。

1　液晶パネルを開ける。

2　電源スイッチを繰り返しずらして、撮る-メモリーランプを点灯させる。

レンズカバーが開きます。選ばれている記録先フォルダが表示されます。

3　フォトボタンを軽く押す。

中央部にピントと明るさが合うと、「ピピッ」と鳴ります（まだ記録されていません）。

* 画質設定や被写体の状況によって異なります。

4　フォトボタンを深く押す。

「カシャッ」というシャッター音がします。IIII が消えると、静止画記録が完了します。

◆最後に撮影した画像を確かめるには―レビュー

をタッチする。

をタッチするとスタンバイに戻ります。

画像を消すには をタッチして、［はい］をタッチします。取り消すときは、［いいえ］をタッチします。

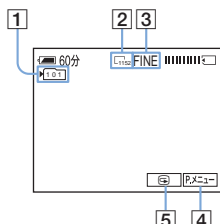
◆撮影が終わったら

電源スイッチを上にずらして「（充電）切」にする。

◆連続して撮影するには―連写

（メモリー設定）メニューの［静止画設定］-［■ 連写］で設定する（51ページ）。

約0.5秒間隔で連写できます。

◆撮影時の画面表示

1 記録先フォルダ

2 画像サイズ

1152（1152×864）または 640（640×480）

3 画質

FINE［ファイン］またはSTD［スタンダード］

4 パーソナルメニューボタン（45ページ）

5 レビューボタン（24ページ）

ちょっと一言

- リモコンのフォトボタンは、押したときに映っている画像が記録されます。
- 録画日時やカメラデータは表示されないまま自動で記録され、再生時に［データコード］を設定すると見ることができます（40ページ）。
- 電源スイッチを「撮る-テープ」にしているときより画角は広くなります。

画質や画像サイズを選ぶ

（メモリー設定）メニューの［静止画設定］で［■画質］や［■画像サイズ］を設定できます（51ページ）。
画質・画像サイズの設定や撮影の状況で、枚数は異なります。次の表は、本機でフォーマットした“メモリースティック　デュオ”に記録できる枚数の目安です。

画質が［ファイン］のとき（枚）

画像1枚の容量は1152×864で500KB、640×480で150KBです。

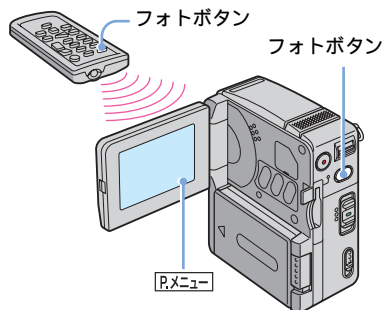
	1152×864 1152	640×480 640
8MB（付属）	15	50
16MB	30	96
32MB	61	190
64MB	120	390
128MB	245	780
256MB（MSX-M256）	445	1400
512MB（MSX-M512）	900	2850

画質が［スタンダード］のとき（枚）

画像1枚の容量は1152×864で200KB、640×480で60KBです。

	1152×864 1152	640×480 640
8MB（付属）	37	120
16MB	74	240
32MB	150	485
64MB	300	980
128MB	600	1970
256MB（MSX-M256）	1000	3550
512MB（MSX-M512）	2050	7200

セルフタイマーを使う

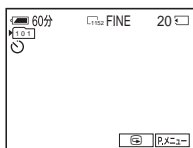
セルフタイマーを使うと、約10秒後に静止画を撮影します。

1 P.メニュー をタッチする

2 ［セルフタイマー］をタッチする。

画面にないときは ⌃/⌄ をタッチして表示させます。見つからないときは、メニューをタッチして （カメラ設定）メニューから選びます。

3 ［入］をタッチし、OK をタッチする。

次のページへつづく➡

が表示されます。

4 **フォトボタンを深く押す。**
セルフタイマーの秒読みが始まり、約10秒後に撮影されます。カウントダウンの表示は8から始まります。IIII が消え、画像が記録されます。

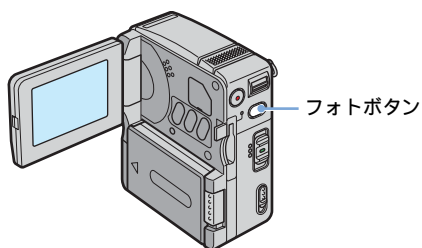
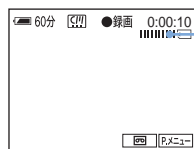
◆秒読みを停止するには

［リセット］をタッチする。

◆セルフタイマーを解除するには

手順1、2を行い、手順3で［切］をタッチする。

テープ撮影中に“メモリースティック　デュオ”に静止画を撮影する

画像サイズは「640×480」になります。画像サイズを選んで撮影するときはメモリーフォト撮影を使います（24ページ）。

テープ撮影中に、フォトボタンを深く押す。

◆スタンバイ中に静止画撮影するには

フォトボタンを軽く押し、ピントが合ったらフォトボタンを深く押す。

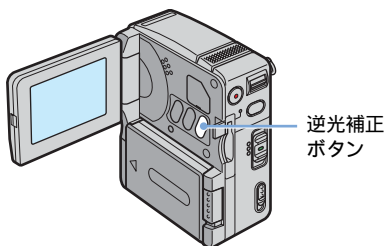
ご注意

- 次の設定のとき、“メモリースティック　デュオ”に静止画を撮影できません。
  - フェーダー
  - ワイドTVモード
  - メモリーオーバーラップ
  - メモリーミックス
- タイトルは記録できません。

明るさを調節する

お買い上げ時は自動で明るさを調節する設定になっています。

逆光補正する

被写体の後ろに太陽などの光源があり（逆光）、被写体が陰になるときに使います。

撮影またはスタンバイ中に、逆光補正ボタンを押す。

が表示されます。

逆光補正を解除するには、もう一度逆光補正ボタンを押します。

ご注意

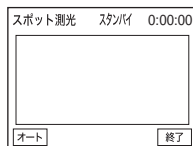
- ［スポット測光］（27ページ）や［カメラ明るさ］（28ページ）を［マニュアル］に設定すると、逆光補正は解除されます。

被写体を基準に明るさを調節する ―フレキシブルスポット測光

被写体が最適な明るさで映るように画面全体の明るさを調節し、固定できます。舞台上の人物など被写体との背景のコントラストが強いときに使います。

1 撮影またはスタンバイ中に、P.メニューをタッチする。

2 ［スポット測光］を選ぶ。

画面にないときは / をタッチして表示させます。見つからないときは、メニューをタッチして （カメラ設定）メニューから選びます。

3 画面枠内の撮影するポイントをタッチする。

［スポット測光］が点滅し、押したポイントの明るさが調節されます。

4 ［終了］をタッチする。

◆自動調節に戻すには

手順1、2を行い、手順3で ［オート］をタッチする。または、［カメラ明るさ］を［オート］に設定する（28ページ）。

ご注意

- Color Slow Shutter中は、フレキシブルスポット測光は働きません。
- ［プログラムAE］を設定すると、［スポット測光］は自動的に［オート］に戻ります。

ちょっと一言

- ［スポット測光］を設定すると、［カメラ明るさ］が自動的に［マニュアル］に設定されます。

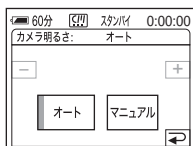
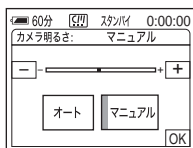
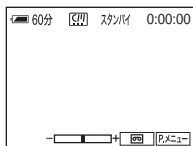
撮る

手動で明るさを調節する

画像の明るさを手動で固定して、一定の明るさで撮影できます。例えば日中に屋内で撮影するときに壁側で明るさを固定すれば、窓際の人物が逆光で暗く映るのを防げます。

1 撮影またはスタンバイ中に、[P.メニュー]をタッチする。

2 ［カメラ明るさ］をタッチする。

画面にないときは[⌃]/[⌄]をタッチして表示させます。見つからないときは、メニューをタッチして（カメラ設定）メニューから選びます。

3 ［マニュアル］をタッチする。

4 [－]（暗くする）/[＋]（明るくする）で明るさを調節して、[OK]をタッチする。

◆自動調節に戻すには

手順1、2を行い、手順3で［オート］をタッチする。

薄暗い場所で撮影する ―Color Slow Shutter（カラースローシャッター）

薄暗い場所を明るくカラーで撮影できます。

1 電源スイッチを「撮る-テープ」にする。

2 [P.メニュー]をタッチする。

3 ［COLOR SLOW S］をタッチする。

画面にないときは[⌃]/[⌄]をタッチして表示させます。見つからないときは、メニューをタッチして（カメラ設定）メニューから選びます。

4 ［入］をタッチして、[OK]をタッチする。

が表示されます。

◆Color Slow Shutterを解除するには

手順2、3を行い、手順4で［切］をタッチする。

ご注意

- 全く光のない場所では、Color Slow Shutterが正しく働かないことがあります。
- 次の設定のとき、Color Slow Shutterは働きません。
  - ー カメラ明るさ
  - ー フレキシブルスポット測光
  - ー プログラムAE
  - ー フェーダー
  - ー デジタルエフェクト
- Color Slow Shutter時のシャッタースピードは明るさによって変わり、画像の動きが遅くなります。
- フォーカスが合いにくいときは、手動でピントを合わせてください。

ピントを合わせる

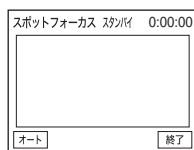
お買い上げ時は自動でピントが合う設定になっています。

中央にない被写体にピントを合わせる—スポットフォーカス

被写体を画面中央からはずれた構図で撮影するときに、被写体を基準にピントを合わせることができます。

1 撮影またはスタンバイ中に、P.メニューをタッチする。

2 ［スポットフォーカス］をタッチする。

画面にないときは［⌃］/［⌄］をタッチして表示させます。見つからないときは、メニューをタッチして（カメラ設定）メニューから選びます。

3 画面枠内の被写体をタッチする。

［スポットフォーカス］が点滅し、押した被写体のピントが調節されます。
が表示されます。

4 ［終了］をタッチする。

◆自動ピント合わせに戻すには

手順1、2を行い、手順3で［オート］をタッチする。または、［フォーカス］を［オート］に設定する（29ページ）。

ご注意

- ［プログラムAE］中は、スポットフォーカスは働きません。

ちょっと一言

- ［スポットフォーカス］を設定すると、［フォーカス］が自動的に［マニュアル］に設定されます。

手動でピントを合わせる

撮影状況に応じて、手動でピント合わせができます。
以下のようなときに使います。

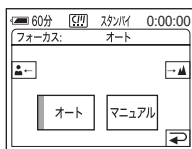
- 水滴の付いた窓の向こうの被写体
- 横しまの多い被写体
- 背景とコントラストの弱い被写体
- 意図的にピントを手前の被写体から奥の被写体に送るとき

- 三脚で撮影する静止した被写体

1 撮影またはスタンバイ中に、P.メニューをタッチする。

2 ［フォーカス］をタッチする。

画面にないときは［⌃］/［⌄］をタッチして表示させます。見つからないときは、メニューをタッチして（カメラ設定）メニューから選びます。

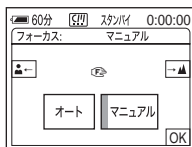
次のページへつづく➡

3 **［マニュアル］をタッチする。**

が表示されます。

4 **または を押し、ピントの合う位置を調節する。**

：近くにピントを合わせるとき。

：遠くにピントを合わせるとき。

は、ピントをそれ以上遠くに合わせられないとき に変わり、それ以上近くに合わせられないとき に変わります。

5 **OK をタッチする。**

◆自動ピント合わせに戻すには

手順1、2を行い、手順3で［オート］をタッチする。

演出効果を加えて撮る

効果的な場面転換をする ―フェーダー

場面と場面の間に、次のような効果を入れながらつなぎ撮りするときに使います。

フェードアウト **フェードイン**

［ノーマルフェーダー］

［モザイクフェーダー］

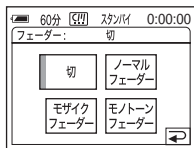
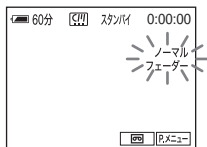
［モノトーンフェーダー］

フェードインは、白黒からカラーに、フェードアウトはカラーから白黒になります。

1 **電源スイッチを「撮る-テープ」にする。**

2 **フェードインはスタンバイ中に、フェードアウトは撮影中に P.メニュー をタッチする。**

3 **［フェーダー］をタッチする。**

画面にないときは / をタッチして表示させます。見つからないときは、メニューをタッチして （ピクチャーアプリ）メニューから選びます。

4 設定する効果を選び、OK をタッチする。

5 スタート/ストップボタンを押す。
フェーダーの表示が点灯に変わり、フェード終了後に消えます。

◆フェードイン・フェードアウトを解除するには

手順2、3を行い、手順4で［切］をタッチする。

ご注意

- 次の設定のとき、フェーダーは働きません。
  - Color Slow Shutter
  - デジタルエフェクト

◆"メモリースティック　デュオ"の静止画と重ねるには―メモリーオーバーラップ

"メモリースティック　デュオ"に記録してある静止画から、本機でテープに撮影している動画にフェードインします。

静止画　　**動画**

1 静止画が記録された"メモリースティック　デュオ"と録画用テープが入っていることを確認する。
2 電源スイッチを「撮る-テープ」にする。
3 P.メニューをタッチする。
4 ［メニュー］をタッチする。
5 （ピクチャーアプリ）メニューから ▲ / ▼ で［オーバーラップ］を選び、OK をタッチする。
"メモリースティック　デュオ"に記録した画像がサムネイル画面に表示されます。
6 −（前の画像）/ ＋（次の画像）をタッチして、重ねたい静止画を選ぶ。
7 ［入］をタッチし、OK をタッチする。
8 ☒をタッチする。
9 スタート/ストップボタンを押して撮影を始める。
［M.オーバーラップ］が点灯に変わり、フェード終了後に消えます。

演出を加えて撮影する ―デジタルエフェクト

印象的な場面にしたいとき、次のような演出を効果的に使います。

［スチル］
あらかじめ取り込んだ静止画に、動画を重ねて撮影する。

［フラッシュ］（フラッシュモーション）
コマ送り撮影をする。

［ルミキー］（ルミナンスキー）
あらかじめ取り込んだ静止画の明るい部分（人物や白い紙に書いたタイトル文字の背景など）に動画をはめ込んで撮影する。

次のページへつづく➡

[トレイル]
被写体が動く残像が、尾を引くように撮影する。

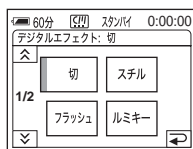
[スローシャッター]
シャッタースピードを遅くする。暗いところで撮影しやすい。

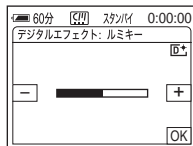
[オールドムービー]
画面を横長、画像をセピア、シャッタースピードを遅くして、昔の映画のように撮影する。

1 電源スイッチを「撮る-テープ」にする。

2 [P.メニュー]をタッチする。

3 [デジタルエフェクト]をタッチする。

画面にないときは[⌃]/[⌄]をタッチして表示させます。見つからないときは、メニューをタッチして（ピクチャーアプリ）メニューから選びます。

4 設定する効果を選び、[－]（効果を小さく）/[＋]（効果を大きく）で調節して、[OK]をタッチする。

調整画面例：

[スチル]と[ルミキー]では、押したときの画像が静止画として記憶されます。

効果	調節内容
[スチル]	撮影中の動画の背景にある静止画の映り具合
[フラッシュ]	フラッシュの間隔
[ルミキー]	動画をはめ込む静止画部分の明るさの度合い
[トレイル]	残像が残る時間
[スローシャッター]*	シャッタースピード（1は1/30、2は1/15、3は1/8、4は1/4）
[オールドムービー]	調節不要

* 自動でピントが合いにくくなるため、三脚などに固定して手動でピントを合わせてください。

5 [OK]をタッチする。

[D✦]が表示されます。

◆デジタルエフェクトを解除するには

手順2、3を行い、手順4で[切]をタッチする。

ご注意

- 次の設定のとき、デジタルエフェクトは働きません。
  - ー Color Slow Shutter
  - ー フェーダー
  - ー メモリーミックス
  - ー メモリーオーバーラップ
- [プログラムAE]の[オート]以外の設定のとき、[スローシャッター]、[オールドムービー]は働きません。
- 次の設定のとき、[オールドムービー]は働きません。
  - ー ワイドTVモード
  - ー ピクチャーエフェクト

ちょっと一言

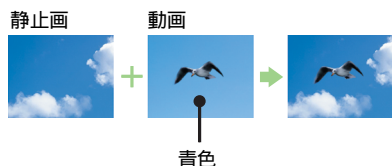
- テープ撮影するときは、画像全体にネガフィルムやパステル調などの効果を加えられます。詳しくは[ピクチャーエフェクト]（55ページ）をご覧ください。

テープの動画に静止画を重ねて撮影する―メモリーミックス

“メモリースティック　デュオ”に記録してある静止画を、本機で撮影する動画に重ねられます。撮影後のテープの画像には重ねられ

ません。重ねた画像はテープまたは“ メモリースティック　デュオ ” に記録できます。（“ メモリースティック　デュオ ” には静止画のみ記録できます。）

[メモリールミキー]
静止画の明るい（白い）部分を抜いて、画像に重ねて撮影する。
旅行やイベントの前に、白い紙に書いたイラストやタイトルなどをあらかじめ“ メモリースティック　デュオ ” に静止画撮影しておいてください。

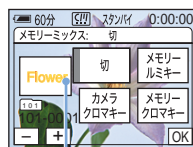
[カメラクロマキー]
背景などの静止画に動きのある被写体を重ねる（青色を背景に被写体を撮影し、青色の部分のみを抜く）。

[メモリークロマキー]
イラストや枠などの静止画を使い、静止画の青色の部分のみを抜いて、画像に重ねて撮影する。

1 静止画が記録された“ メモリースティック　デュオ ” と録画用テープ（テープ撮影のときのみ）が入っていることを確認する。

2 電源スイッチを「撮る-テープ」（テープ撮影のとき）か「撮る-メモリー」（“ メモリースティック　デュオ ” 撮影のとき）にする。

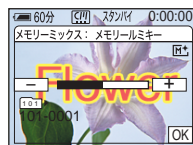
3 P.メニューをタッチする。

4 [メモリーミックス］をタッチする。

画面にないときは⌃/⌄をタッチして表示させます。見つからないときは、メニューをタッチして（ピクチャーアプリ）メニューから選びます。
“ メモリースティック　デュオ ” に記録した画像が、サムネイル画面に表示されます。

サムネイル画面

5 −（前の画像）/＋（次の画像）をタッチして、重ねる静止画を選ぶ。

6 使う効果をタッチする。

静止画が、スタンバイ中の動画と重なります。

7 −（効果を小さく）/＋（効果を大きく）で以下を調節する。

[メモリールミキー］のとき
静止画の、明るい部分の抜き具合。

次のページへつづく➡

“メモリースティック　デュオ”の静止画だけをテープに記録するには、メモリールミキーの調節画面で［＋］をタッチして、バー表示を右側いっぱいまで増やします。

［カメラクロマキー］のとき
動画の、青色部分の抜き具合。

［メモリークロマキー］のとき
静止画の、青色部分の抜き具合。

8 ［OK］を２回タッチする。
［M+］が表示されます。

9 撮影を始める。

テープ撮影のとき
スタート/ストップボタンを押す。

“メモリースティック　デュオ”撮影のとき
フォトボタンを深く押す。

◆メモリーミックスを解除するには

手順３、４を行い、手順5で［切］をタッチする。

ご注意

- 重ねる静止画に白い部分が多いと、サムネイル画面でははっきりと見えないことがあります。
- メモリーミックスでは対面撮影（22ページ）しても、画面に映る画像は左右が反転しません。
- パソコンで加工した画像や他機で撮影した画像は、本機で再生できないことがあります。

ちょっと一言

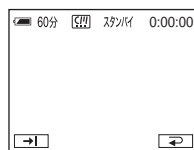
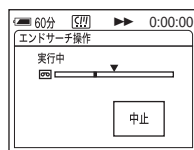
- メモリーミックス用のサンプル画像は付属のCD-ROM「SPVD-010　USBドライバー」の中に入っています。詳しくは、別冊の「パソコン編」説明書をご覧ください。

最後に録画した場面を頭出しする

―エンドサーチ

現在のテープ位置に関係なく、最後に録画終了した場面からつなぎ撮りするときに便利です。カセットを取り出してもエンドサーチは働きます。

1 電源スイッチを「撮る-テープ」にする。

2 ［テープ］をタッチする。

3 ［→|］をタッチする。

最後に撮影した場面の約5秒間が再生され、撮影終了した場面でスタンバイになります。

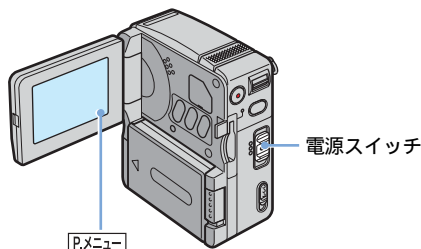
◆エンドサーチをやめるには

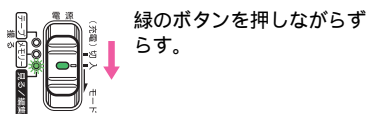
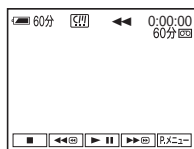
［中止］をタッチする。

ちょっと一言

- メニューからも［エンドサーチ操作］で操作できます。
- 電源スイッチが「見る/編集」のときは、［P.メニュー］の［エンドサーチ操作］で操作できます。

テープの動画を見る

あらかじめカセットを入れておいてください。
リモコンでも一部操作できます。
テレビで見るときは41ページをご覧ください。

1 液晶パネルを開ける。

2 電源スイッチを「見る/編集」にする。

3 (巻戻し)をタッチして、見たい位置まで巻き戻す。

4 (再生)をタッチして、再生する。

◆音量を調節するには

1 P.メニュー をタッチする。
2 ［音量］をタッチする。
画面にないときは / をタッチして表示させます。見つからないときは、メニューをタッチして (基本設定)メニューから選びます。
3 (小さく)/ (大きく)をタッチして音量を調節し、OK をタッチする。

◆再生を停止するには

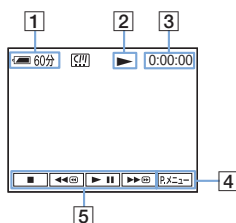
(停止)をタッチする。

◆一時停止するには

再生中に (一時停止)をタッチする。もう一度タッチすると、再生に戻ります。
一時停止状態が5分以上続くと、自動的に停止します。

◆早送り・巻き戻しするには

停止中に (早送り)/ (巻戻し)をタッチする。

◆テープ再生中の表示

1 バッテリー残量
2 テープ走行表示
3 テープカウンター(時:分:秒)
4 パーソナルメニューボタン
5 ビデオ操作ボタン

"メモリースティック デュオ"が入っている場合、再生を停止すると (停止)が 再生 ("メモリースティック デュオ"再生切り換え)に変わります。

テープでできるいろいろな再生

◆画像を見ながら早送り・巻き戻しするには―ピクチャーサーチ

再生中に ▶▶ (早送り) / ◀◀ (巻戻し) をタッチし続ける。
離すと、普通の再生に戻ります。

◆早送り・巻き戻し中に画像を見るには―高速アクセス

早送り中に ▶▶ (早送り)、巻き戻し中に ◀◀ (巻戻し) をタッチし続ける。
離すと、早送り・巻き戻しに戻ります。

◆スロー再生するには

音声は出ません。また、前の映像がモザイク状に残ることがあります。

1 再生中、または再生一時停止中に [P.メニュー] をタッチする。
2 [メニュー] をタッチする。
3 (編集/変速再生) メニューから [▲]/[▼] で [変速再生] を選び、[OK] をタッチする。
4 [スロー▶] (スロー)、またはリモコンの I▶ボタンをタッチする。
普通の再生に戻すときは、[▶II] (再生/一時停止) を2回タッチします。
5 [↩] をタッチし、[×] をタッチする。

ご注意

- MICROMV端子から出力される画像は、なめらかにスロー再生できません。

演出を加えて見る―デジタルエフェクト

[スチル]、[フラッシュ]、[ルミキー]、[トレイル] の各演出を加えて見ることができます。
演出効果についての説明は、31ページをご覧ください。

1 電源スイッチを「見る/編集」にする。

2 演出を加える画像を表示しているときに、[P.メニュー] をタッチする。

3 [メニュー] をタッチする。

4 (ピクチャーアプリ) メニューから、[▲]/[▼] で [デジタルエフェクト] を選び、[OK] をタッチする。

5 設定する効果を選び、[−] (効果を小さく) / [＋] (効果を大きく) で調節して、[OK] をタッチする。

6 [OK] をタッチして、[×] をタッチする。

D✦ が表示されます。

◆デジタルエフェクトを解除するには

手順2～4を行い、手順5で [切] をタッチする。

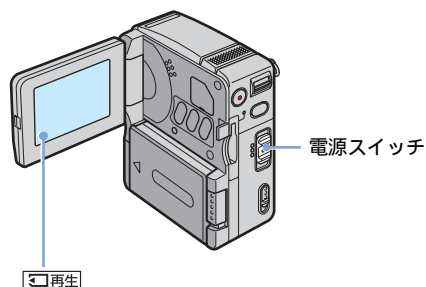
ご注意

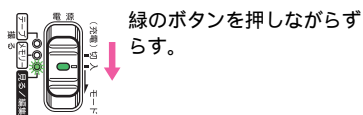
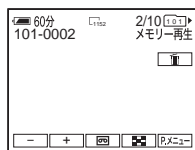
- 外部入力している画像には効果を加えられません。また、デジタルエフェクトを加えた画像は MICROMV端子からは出力されません。

ちょっと一言

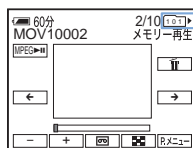
- 効果を加えて見ている画像を本機でそのまま記録することはできませんが、“メモリースティック デュオ”に取り込んだり (72ページ)、他のビデオへ録画 (70ページ) したりすることはできます。

"メモリースティック　デュオ" の画像を見る

記録した画像を１枚ずつ表示して確認できます。また、たくさん撮影したときに一覧表示して見たい画像を簡単に検索できます。
あらかじめ "メモリースティック　デュオ" を入れておいてください。
なお、テレビで見るときは41ページをご覧ください。

1 液晶パネルを開ける。

2 電源スイッチを「見る/編集」にする。

3 再生 をタッチする。

最後に撮影した画像が表示されます。

4 −（前の画像）/＋（次の画像）をタッチして、画像を選ぶ。

動画のときは、再生する画像が表示されたら、MPEG►II をタッチする。

◆動画の音量を調節するには

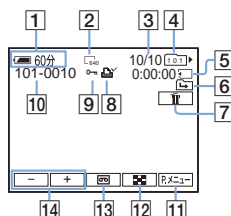
1 P.メニュー をタッチする。
2 ［音量］をタッチする。
画面にないときは ⌃ / ⌄ をタッチして表示させます。見つからないときは、メニューをタッチして（基本設定）メニューから選びます。
3 −（小さく）/＋（大きく）をタッチして音量を調節し、OK をタッチする。

◆動画を停止または一時停止するには

MPEG►II をタッチする。
もう一度タッチすると、再生に戻ります。

◆不要な画像を消すには

「記録した画像を消す」（74ページ）をご覧ください。

◆"メモリースティック　デュオ" 再生中の表示

1 バッテリー残量
2 静止画の画像サイズ

次のページへつづく ➡

3 再生中の画像番号/現在の再生フォルダ中の撮影した枚数

4 フォルダ表示

5 再生時間（動画のみ）

6 前後フォルダ表示

"メモリースティック　デュオ"に複数のフォルダがあるとき、フォルダ内の最初/最後の画像になると表示されます。

↵：[－]で前フォルダへ
↳：[＋]で次フォルダへ
↵↳：[－]/[＋]で前/次フォルダへ

7 画像削除ボタン

8 プリントマーク（静止画のみ）（77ページ）

9 プロテクト（76ページ）

10 データファイル名

11 パーソナルメニューボタン

12 インデックス表示ボタン

13 テープ再生切り換えボタン

14 画像送りボタン

ご注意

- パソコンで作成したフォルダや名前を変更したフォルダ、加工した画像は、本機で正しく認識されないことがあります。

ちょっと一言

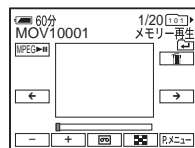
- いったん画像を記録すると、そのとき選ばれている記録先フォルダが、再生フォルダに設定されます。メニューで再生フォルダを選ぶこともできます（54ページ）。

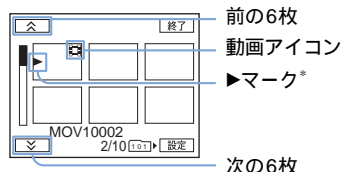
"メモリースティック　デュオ"でできるいろいろな再生

「"メモリースティック　デュオ"の画像を見る」（37ページ）の手順3の画面から次のことができます。

◆動画を分割して場面を探すには

録画した動画を最大60分割して、見たい場面から再生できます。録画時間により分割数は変わります。

1 [←]（前の場面）/[→]（次の場面）をタッチして、頭出しする場面を選ぶ。

2 [MPEG▶II]をタッチする。

◆動画も含めた画像を6枚ずつ一覧表示するには─インデックス表示

[インデックス]をタッチする。

*インデックス表示をする前に映っていた画像

1枚の表示（シングル表示）に戻すには、表示する画像をタッチします。

◆別フォルダにある画像を見るには

他のフォルダの画像をインデックス画面から選ぶことができます。

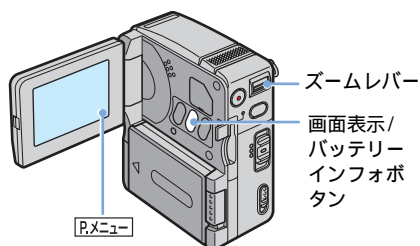
1 [インデックス]をタッチする。

2 [設定]をタッチする。

3 ［再生フォルダ選択］をタッチする。

4 [▲]/[▼]で見たいフォルダを選び、[OK]をタッチする。

再生の便利な機能

画面で確認しづらい小さな被写体を拡大表示できます。また、撮影した日付や保存先のフォルダ名を表示できます。

画像を拡大する— テープ再生ズーム・メモリー再生ズーム

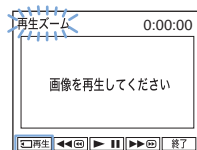
テープの動画または“ メモリースティック デュオ ”の静止画の細部を確認するときに便利です。

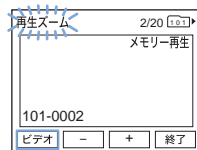
1 電源スイッチを「見る/編集」にする。

2 P.メニュー をタッチする。

3 [再生ズーム]をタッチする。

画面にないときは[⌃]/[⌄]をタッチして表示させます。見つからないときは、メニューをタッチして（ピクチャーアプリ）メニューから選びます。

テープ再生ズーム中の表示

“ メモリースティック デュオ ”再生切り換えボタン

メモリー再生ズーム中の表示

テープ再生切り換えボタン

4 画像を表示させ、枠内の拡大する部分をタッチする。

タッチした部分が約2倍に拡大され、画面中央に表示されます。別の場所をタッチすると、その部分が画面中央に表示されます。

5 ズームレバーで倍率を変える。

約1.1〜5倍の範囲で、Wで小さく、Tで大きくなります。

◆再生ズームを解除するには

[終了]をタッチする。

ご注意

- 外部入力している画像は拡大できません。また、再生ズームを加えた画像は MICROMV端子からは出力されません。
- 次の設定のとき、テープ再生ズームは働きません。
  – デジタルエフェクト
  – ピクチャーエフェクト

ちょっと一言

- 拡大した画像は、フォトボタンを押すと“ メモリースティック デュオ ”に静止画として保存できます。そのときの画像サイズは「640×480」になります。

次のページへつづく➡

• 再生ズーム中に画面表示/バッテリーインフォボタンを押すと、表示枠が消えます。

画面表示を出す・消す

テープカウンターなどの情報を画像と合わせて表示できます。

画面表示/バッテリーインフォボタンまたはリモコンの画面表示ボタンを押す。

押すたびに、（非表示）←→（表示）と変わります。

ちょっと一言

• テレビにつないで見るときは、（基本設定）メニューで［画面表示］を［ビデオ出力/パネル］に設定すると、テレビ画面でも同様に画面表示を出すことができます（64ページ）。

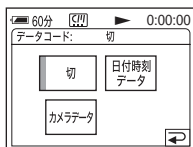
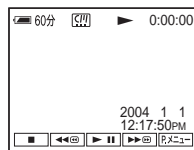
日付時刻・カメラデータを表示する—データコード機能

テープ撮影時や“メモリースティック　デュオ”撮影時（静止画のみ）に自動的に記録されている、日付時刻データやカメラデータ（設定情報）を再生中に見ることができます。

1　電源スイッチを「見る/編集」にする。

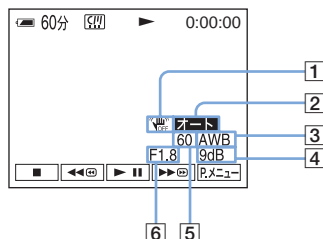
2　再生、または再生一時停止中に P.メニュー をタッチする。

3　［データコード］をタッチする。

画面にないときは ⌃ / ⌄ をタッチして表示させます。見つからないときは、メニューをタッチして（基本設定）メニューから選びます。

4　［日付時刻データ］または［カメラデータ］を選び、OK をタッチする。

◆データコードを表示させないときは

手順2、３を行い、手順4で［切］をタッチする。

◆カメラデータの表示

日付時刻データのときは、同じエリアに日時が表示されます。日付・時刻を設定せずに撮影すると、[---- -- --] と [--:--:--] が表示されます。

1 手ぶれ補正［切］*
2 明るさ調節*
3 ホワイトバランス*
4 ゲイン*
5 シャッタースピード
6 絞り値

*テープ再生中のみ

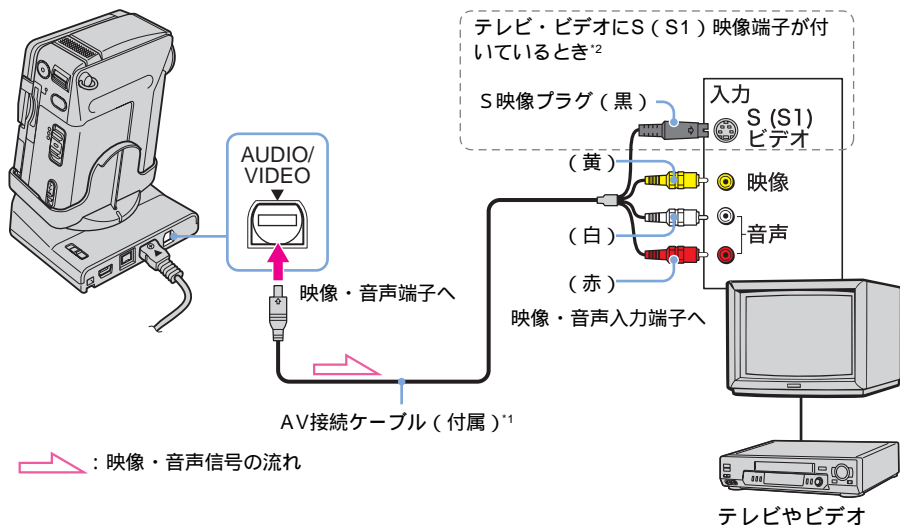
ご注意

• “メモリースティック　デュオ”の動画再生時には、カメラデータは表示されません。

ちょっと一言

• “メモリースティック　デュオ”再生時は、露出補正値（0EV）が表示されます。

テレビにつないで見る

AV接続ケーブル（付属）で、ハンディカムステーションまたは本機の映像・音声端子とテレビをつなぎます。
電源は、付属のACアダプターをコンセントにつないでください（13ページ）。また、つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
ダビングするときは70ページをご覧ください。

*1付属のAV接続ケーブルには映像プラグとS映像プラグがあります。
*2画像をより忠実に再現できます。接続先の機器にS（S1）映像端子が付いているときは、AV接続ケーブルの黄色いプラグ（映像）の代わりにS映像プラグを接続先の機器のS（S1）映像端子につないでください。MICROMV方式の高解像度を生かすためにはこの接続を行ってください。
S映像プラグのみをつないだ場合、音声は出力されません。

◆ビデオがテレビにつながっているときは

ビデオの外部入力端子につなぎ、ビデオの入力を「外部入力（ライン）」に切り換える。

◆モノラルテレビ（音声端子がひとつ）のときは

AV接続ケーブル（付属）の黄色いプラグを映像入力へ、赤いプラグ（右音声）か白いプラグ（左音声）のどちらかを音声入力へつなぐ。

◆MICROMV対応のi.LINK端子を装備したテレビのときは

i.LINKケーブル（別売り）を使って、本機と MICROMV端子を装備したテレビまたはチューナーと接続する。

テープの画像を頭出しする

見たい場面を探す―マルチ画面サーチ

テープに記録されている画像のサムネイルをまとめてインデックス画面に表示することができます。（1回に表示できるのは11枚までです。）
サムネイルとは、録画された最初の画像を頭出しのために静止画にしたものです。
サムネイルを選ぶと、自動的にその画面が頭出しされ、再生が始まります。

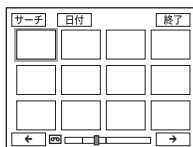
1 電源スイッチを「見る/編集」にする。

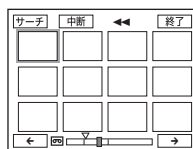
2 P.メニューをタッチする。

3 ［マルチ画面サーチ］をタッチする。

画面にないときは⌃/⌄をタッチして表示させます。見つからないときは、メニューをタッチして（編集/変速再生）メニューから選びます。

4 ←/→をタッチして、サーチする方向を選ぶ。

選んだ方向にテープのスキャンが始まり、→方向では左上から←方向では右下からサムネイル表示されます。
スキャンが完了すると、左上画面が黒くなり、自動的に停止します。

5 頭出ししたいサムネイルを選び、［サーチ］または選んだサムネイルをもう一度押す。

頭出しが始まり、選んだサムネイルの場面で自動的に再生が始まります。
他のサムネイルに変更したいときは、↩を押して、頭出ししたいサムネイルを選び、［サーチ］または選んだサムネイルをもう一度押します。

バーに表示されるオレンジ色の部分は、スキャンする範囲を表しています。水色の部分は、記録済みの範囲を表しています。

◆再生画面からマルチ画面サーチに戻るには

↩をタッチする。

◆マルチ画面サーチを中止するには

［中断］をタッチする。

◆マルチ画面サーチを終了するには

［終了］をタッチする。

ご注意

- テープの途中に無記録部分があると、正しく働かないことがあります。
- 1つのカセットのカセットメモリーに入るサムネイルは約400です。
- マルチ画面操作中は他の操作はできません。
- 以下の場合、サムネイルが11枚表示されないことがあります。
  - 1回のスキャンでサムネイルが表示される範囲内の録画数が11回に満たないとき
  - 途中から上書きされたテープをスキャンしたとき
  - マイクロカセットメモリーのデータをすべて消去したとき
- テープの状態によってはサムネイルが表示されないことがありますが、故障ではありません。

- サムネイル画像にノイズが出ることがありますが、記録済みの画像には影響はありません。

ちょっと一言

- ［日付］または［📼位置］をタッチすると、タイトルまたは日付、時刻表示かテープ位置表示かを切り換えることができます。
サーチ中は［日付］を選んでいてもテープ位置表示になります。
- スキャンの途中で［←］/［→］を選んで決定すると、次の11枚をスキャンすることができます。
- スキャン完了前で最初の画像が表示されていなくても、サムネイル場面の頭出し再生ができます。

タイトル場面を頭出しする―タイトルサーチ

録画した場面にタイトルを付けておくと（58ページ）、タイトルを付けた場面を頭出しできます。

1 電源スイッチを「見る/編集」にする。

2 リモコンのサーチ選択ボタンを繰り返し押して、「タイトルサーチ」を選ぶ。

3 リモコンの⏮（前のタイトル）/⏭（次のタイトル）ボタンを押して、頭出しするタイトルを選ぶ。

選んだタイトルの場面で自動的に再生します。

◆サーチをやめるには

リモコンの停止ボタンを押す。

ご注意

- テープの途中に無記録部分があると、正しく働かないことがあります。
- 1つのカセットメモリーに入るタイトルデータは20までです。

撮影日でテープを頭出しする―日付サーチ

頭出ししたい撮影日を選ぶと、撮影した日付の変わり目を頭出しできます。

1 電源スイッチを「見る/編集」にする。

2 リモコンのサーチ選択ボタンを繰り返し押して、「日付サーチ」を選ぶ。

3 リモコンの⏮（前の日付）／⏭（後の日付）ボタンを押して、頭出しする。

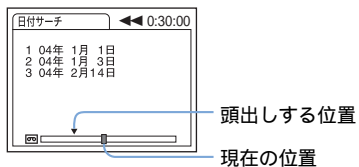
選んだ日付の場面から、自動的に再生します。
ボタンを押した回数だけ、前または後の日付を頭出しします。

次のページへつづく➡

見る

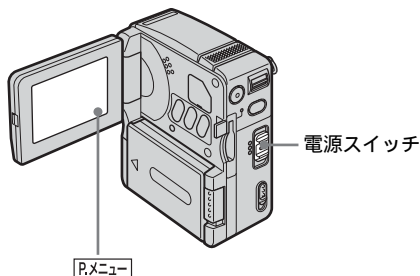
◆サーチをやめるには

リモコンの停止ボタンを押す。

ご注意

- テープの途中に無記録部分があると、正しく頭出しできないことがあります。
- 1つのカセットのカセットメモリーに入る日付データは20までです。

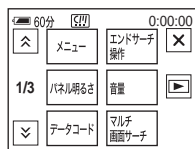
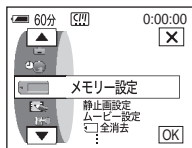
メニューで設定する

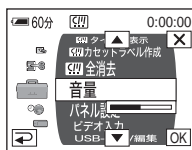
メニュー項目の使いかた

画面に表示されるメニューで、お好みの設定やより細かい設定ができます（66ページ）。

1 電源を入れる（16ページ）。

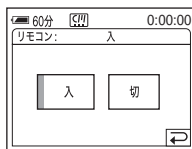
2 [P.メニュー]をタッチする。

パーソナルメニュー画面が表示されます。よく使う項目はパーソナルメニューとしてショートカットになっています。設定できる項目は、電源スイッチの位置ごとに異なります。

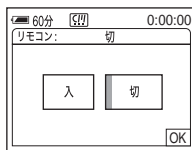
例：「見る/編集」のときのパーソナルメニュー

3 ［メニュー］をタッチして、メニューインデックス画面を出す。

4 [▲]/[▼]で設定するメニューのマークを選び、[OK]をタッチする。

- カメラ設定（47ページ）
- メモリー設定（51ページ）
- ピクチャーアプリ（55ページ）
- 編集/変速再生（58ページ）
- 基本設定（62ページ）
- 時間設定（65ページ）

5 [▲]/[▼]で設定する項目を選び、[OK]をタッチする。

[OK]の代わりに設定する項目名をタッチしても同様に選べます。

[▲]/[▼]でメニューをスクロールさせ、現在のモードで設定できる全メニュー項目を見ることができます。

6 希望の設定にする。

[↩]が[OK]に変わります。設定を変更しないときは[↩]で前の画面に戻ります。

次のページへつづく➡

7 [OK]をタッチし、[×]（閉じる）をタッチして、メニュー画面を消す。

[↩]（戻る）をタッチすると、タッチするごとに、1つ前の階層に戻ります。

◆パーソナルメニューのショートカットを使うには

ショートカットはカスタマイズすることができます（66ページ）。

1 [P.メニュー]をタッチする。

2 設定したい項目をタッチする。

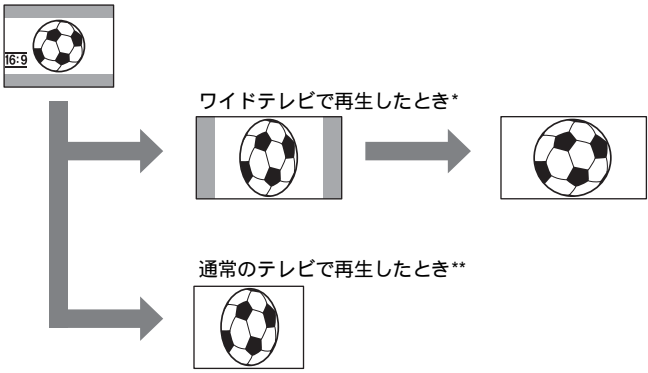
3 希望の設定にして、[OK]をタッチする。

ちょっと一言

- 電源スイッチが「見る/編集」のとき、45ページの手順２のあとで表示される画面で[▶]をタッチすると、ビデオ操作画面が表示されます。戻るときは[↩]をタッチします。
- よく使う機能はパーソナルメニューに登録しておくと便利です。パーソナルメニューのカスタマイズのしかたについては、66ページをご覧ください。

（カメラ設定）メニューを使う ―プログラムAE・ホワイトバランス・ワイドTVなど

（カメラ設定）メニューでは、「メニュー項目の使いかた」（45ページ）の操作で以下を設定できます。

▷の設定がお買い上げ時の設定です。設定すると、（　）内のアイコンが表示されます。調整できる項目は、電源スイッチの位置ごとに異なります。調整できない項目は表示されません。

項目	設定
プログラムAE	撮影テクニックが必要な撮影状況でも、場面に合わせて以下の設定を行えば簡単に撮影できます。 **▷オート**　プログラムAEを使わないときに選びます。 **スポットライト*（　）** 結婚式や舞台など、強い光が当たっている被写体を撮影するときに選びます。人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぎます。 **ソフトポートレート（　）** 人物、花などを撮影するときに選びます。背景をぼかして被写体を引き立てると同時に、ソフトな印象の映像になるようにします。 **スポーツレッスン*（　）** ゴルフ、テニスなどの速い動きを撮影するときに選びます。被写体のぶれを少なくします。 **ビーチ＆スキー*（　）** 真夏の砂浜や冬山（スキー場）などの照り返しが強い場所で撮影するときに選びます。人物の顔などが暗くなるのを防ぎます。 **サンセット＆ムーン**（　）** 夕焼け、夜景、花火、ネオンサインを撮影するときに選びます。雰囲気を損なわずに撮影できます。

メニューで設定する

次のページへつづく➡

項目	設定
プログラムAE（つづき）	**フウケイ**（ ） 山などの遠くの景色を撮影するときに景色をはっきりさせます。風景を窓ガラスや金網越しに撮影する場合、手前のガラスや金網にピントが合うのを防ぎます。 * 近くのものにピントが合わないように調節されます。 **遠景のみにピントが合うように調節されます。
スポット測光	詳しくは27ページをご覧ください。
カメラ明るさ	詳しくは28ページをご覧ください。
ホワイトバランス	撮影する場面の光に合わせて色合いを調節できます。 **▷オート** ホワイトバランスを自動調節するときに選びます。 **ホールド**（HOLD） 単一色の被写体や背景を撮影するときに選びます。 **オクガイ**（ ） 以下のときに選びます。 ー夜景やネオン、花火など ー日の出、日没など ー昼光色蛍光灯の下 **オクナイ**（ ） 以下のときに選びます。 ーパーティ会場やスタジオなど照明条件が変化する場所 ースタジオなどビデオライトの下、ナトリウムランプ、水銀灯や電球色蛍光灯の下で撮影するとき **ご注意** • 電源を外して5分以上経つと、［オート］に自動的に戻ります。 **ちょっと一言** • ［オート］でバッテリーを交換した、または画像の明るさを固定させたまま屋外と屋内を行き来したときは、電源スイッチを「撮る-テープ」にして、約10秒間白っぽい被写体に向けてから撮影すると、より良い色合いに自動調節されます。 • ［ホールド］で［プログラムAE］の効果を変えた、または屋外と屋内を行き来したときは、［オート］にしてしばらくしてから［ホールド］に戻してください。 • 白色、昼白色蛍光灯下では、［オート］または［ホールド］にしてください。
オートシャッター	**▷入** 明るい場所で、電子シャッター（電気的にシャッタースピードを調節する機能）を使って撮影するときに選びます。 **切** 電子シャッターを使わずに撮影するときに選びます。
スポットフォーカス	詳しくは29ページをご覧ください。

項目	設定
フォーカス	詳しくは29ページをご覧ください。
COLOR SLOW S	詳しくは28ページをご覧ください。
セルフタイマー	詳しくは23、25ページをご覧ください。
デジタルズーム	テープに撮影するとき、10倍光学ズームを超えた場合のデジタルズームの最大倍率を設定します。デジタル処理のため画質は劣化します。野鳥など遠方の被写体を拡大するときに便利です。 W T **ラインよりT側がデジタルズームになります。［20×］または［120×］を選ぶと表示されます。** **▷切**　10倍光学ズームのみで撮影するときに選びます。 **20×**　最大20倍までのデジタルズームで撮影するときに選びます。 **120×**　最大120倍までのデジタルズームで撮影するときに選びます。

次のページへつづく➡

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">設定</th></tr>
<tr><td rowspan="3">ワイドTV</td><td colspan="2">ワイドテレビで見るときに、テープの画像が画面いっぱいに映るように撮影できます。ズームレバーをW側にしたときに、より広角でテープ撮影したいときにも便利です。ID-1/ID-2対応テレビやテレビのS（S1）映像入力端子につないで再生すると、テレビが自動的にワイドモードに切り換わります。
つなぐテレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

液晶画面で見たとき
16:9
ワイドテレビで再生したとき*
通常のテレビで再生したとき**

* ワイドテレビがフルモードに切り換わると、画面いっぱいに正しい比率で映ります。
**4：3モードで再生すると、画像は縦長に映ります。ワイドモードで再生すると、液晶画面で見たときと同じように映ります。</td></tr>
<tr><td>▷切</td><td>通常の画面設定です（縦横比4：3のテレビで再生するときなど）。横長の画面になりません。</td></tr>
<tr><td>入（16:9）</td><td>ワイドテレビで再生するために撮影するときに選びます。ID-1/ID-2対応やS（S1）の映像入力端子でつないだテレビのときは自動的に横長の画面になります。

ちょっと一言
• ID-1方式は、ビデオ信号のすきまに信号を加算することにより、画面の縦横比（16:9、4:3またはレターボックス）の情報を通信するシステムです。
• ID-2方式は、ID-1方式に加え著作権保護のための信号をアナログ接続において行うためのシステムです。
• S1映像信号は、通常のS映像信号にワイドモード自動選択用の信号が加算されています。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">手ぶれ補正</td><td>▷入</td><td>手ぶれ補正が働きます。</td></tr>
<tr><td>切（OFF）</td><td>手ぶれ補正が働きません。三脚を利用しての撮影時に選ぶと、より自然な画像になります。</td></tr>
</table>

(メモリー設定)メニューを使う－連写・画質・画像サイズ・全消去・フォルダ作成など

（メモリー設定）メニューでは、「メニュー項目の使いかた」（45ページ）の操作で以下を設定できます。

▷の設定がお買い上げ時の設定です。設定すると、（　）内のアイコンが表示されます。
調整できる項目は、電源スイッチの位置ごとに異なります。調整できない項目は表示されません。

項目	設定
静止画設定	■ **連写** 静止画を連続して撮影できます。連写の枚数は、画像サイズと " メモリースティック デュオ " の残量によって変わります。 **1**［ノーマル］か［ブラケット］を選び、OK をタッチする。 **▷切**　連写しないときに選びます。 **ノーマル（）**　約0.5秒間隔で4枚（画像サイズは1152×864）から最大13枚（画像サイズは640×480）までの静止画を連写するときに選びます。 **ブラケット（BRK）**　約0.5秒間隔で、露出を自動で変えた3枚の画像を連写するときに選びます。３枚を比べて、被写体や場面の明るさが最適な画像を選べます。 **2** ✕ をタッチする。 **3** フォトボタンを深く押す。 ［ノーマル］を選択したときは、フォトボタンを押している間、最大枚数まで連写します。 **ご注意** • セルフタイマーやリモコンでの撮影時は、フォトボタンを押すと自動的に最大枚数まで連写します。 • " メモリースティック　デュオ " の残量が3枚より少ないと［ブラケット］はできません。 •［ブラケット］で撮影した画像の違いが液晶画面ではわかりにくいときは、テレビやパソコン画面につないで確認してください。
	■ **画質** **▷ファイン（FINE）**　高画質（約1/4の圧縮）で記録するときに選びます。 **スタンダード（STD）**　標準の画質（約1/10の圧縮）で記録するときに選びます。

次のページへつづく➡

項目	設定
静止画設定（つづき）	**▣ 画像サイズ** **▷1152×864（1152）** 大きな画面で見る画像を撮影するときに選びます。電源スイッチが「撮る-メモリー」のときのみ選べます。 **640×480（640）** たくさんの枚数を撮影するときや、小さい画面でしか見ない画像を撮影するときに選びます。
ムービー設定	**録画モード（21ページ）** **▷スーパーファイン（SFN）** 最高の画質で動画を記録するときに選びます。 **ファイン（FINE）** 高画質で動画を記録するときに選びます。 **スタンダード（STD）** 標準の画質で動画を記録するときに選びます。 **ライト（LIGHT）** 電子メール添付用などの動画を記録するときに選びます。
	残量表示 **▷オート** 次のときにメモリー残量を表示します。 ー電源スイッチが「撮る-メモリー」で、“ メモリースティックデュオ ” を入れたとき（約5秒間） ー電源スイッチが「撮る-メモリー」で、メモリー残量が2分未満になったとき ー撮影の開始時と終了時（約5秒間） **入** メモリー残量を常に表示します。
	再生画面サイズ **▷ノーマル** 動画画像を画面中央に表示するときに選びます。 **拡大** 動画画像を液晶画面いっぱいに表示するときに選びます。 **ご注意** • ファイルによっては、画像が中央に表示されなかったり、画面サイズを切り換えたときに液晶画面いっぱいに表示されない場合があります。

項目	設定
全消去	プロテクトがかかっていない、" メモリースティック　デュオ " 内のすべての画像、または選択フォルダ内のすべての画像を消去します。画像を１つずつ消すときは、74ページをご覧ください。 **1**［全ファイル］か［フォルダ内］をタッチする。 **▷全ファイル**　記憶されているすべての画像を消去するときに選びます。 **フォルダ内**　選択フォルダ内の画像をすべて消去するときに選びます。 **2**［はい］を2回タッチする。 全消去を中止するときは、［いいえ］をタッチする。 **3** ✕ をタッチする。 **ご注意** • 全消去しても、フォルダは消去されません。 • ［全消去中です］が表示されている間は、電源スイッチを切り換えたり、ボタンを押したりしないでください。
フォーマット	" メモリースティック　デュオ "（付属および別売りお買い上げ時）はフォーマット済みのため、あらためてフォーマットする必要はありません。 " メモリースティック　デュオ " について、詳しくは92ページをご覧ください。 **1**［はい］を２回タッチする。 フォーマットを中止するときは［いいえ］をタッチする。 **2** ✕ をタッチする。 **ご注意** • ［フォーマット中です］が表示されているとき、次の操作はしないでください。 ー 電源スイッチを切り換える ー ボタン操作をする ー " メモリースティック　デュオ " を取り出す • 新しく作成したフォルダやプロテクトがかかっている画像もすべて消去されます。
ファイルナンバー	**▷連番**　" メモリースティック　デュオ " を取り換えても、ファイル番号を連続して付けるときに選びます。 フォルダを新しく作成、または記録先フォルダを変更した場合はリセットされます。 **リセット**　" メモリースティック　デュオ " ごとに、ファイル番号を0001から付けるときに選びます。

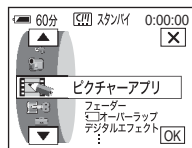
次のページへつづく➡

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定</th></tr>
<tr><td>フォルダ作成</td><td>“ メモリースティック　デュオ ” 内に、新しいフォルダ（102MSDCF～999MSDCFまで）を作成できます。1つのフォルダが9999枚でいっぱいになると、次は自動的に新しいフォルダを作成します。
1 ［はい］をタッチする。
新しいフォルダが作成されます。フォルダ番号は今までの最大番号+1になります。
フォルダ作成を中止するときは、［いいえ］をタッチする。
2 [✕] をタッチする。

ご注意
• いったん作成したフォルダは、本機で削除できません。“ メモリースティック　デュオ ” をフォーマットするか（53ページ）、パソコンなどで削除してください。
• フォルダが増えると、“ メモリースティック　デュオ ” の撮影可能枚数は減ります。</td></tr>
<tr><td>記録フォルダ選択</td><td>お買い上げ時は画像を「101MSDCF」フォルダに記録しますが、記録するフォルダを新しく作成するときは、上記の［フォルダ作成］を行ってから、[▲]/[▼]で記録するフォルダを選び、[OK]をタッチしてください。フォルダを選択する画面に各フォルダの情報が表示されます。
画像が多くなったときなどフォルダで分類しておくと、見たい画像を探しやすくなります。</td></tr>
<tr><td>再生フォルダ選択</td><td>[▲]/[▼]で再生するフォルダを選び、[OK]をタッチする。</td></tr>
</table>

（ピクチャーアプリ）メニューを使う―ピクチャーエフェクト・スライドショー・インターバル静止画記録など

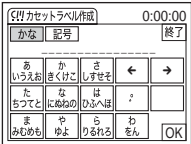
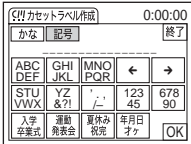
（ピクチャーアプリ）メニューでは、「メニュー項目の使いかた」（45ページ）の操作で以下を設定できます。
▷の設定がお買い上げ時の設定です。設定すると、（　）内のアイコンが表示されます。

調整できる項目は、電源スイッチの位置ごとに異なります。調整できない項目は表示されません。

項目	設定	
フェーダー	詳しくは30ページをご覧ください。	
オーバーラップ	詳しくは31ページをご覧ください。	
デジタルエフェクト	詳しくは31、36ページをご覧ください。	
ピクチャーエフェクト	映画のような特殊効果を加えた画像にしてテープに撮影したり、通常のテープ画像に特殊効果を加えて見たりできます。特殊効果を設定すると、が表示されます。	
	▷切	ピクチャーエフェクトを使わないときに選びます。
	ネガアート	写真のネガフィルムのように撮影・再生するときに選びます。
	セピア	古い写真のような色あいで撮影・再生するときに選びます。
	モノトーン	白黒で撮影・再生するときに選びます。
	ソラリ	明暗をはっきりさせたイラストのように撮影・再生するときに選びます。
	パステル	淡い色のパステル画のように撮影するときに選びます（再生時は使えません）。
	モザイク	タイルを組み合わせたように撮影するときに選びます（再生時は使えません）。

次のページへつづく➡

項目	設定
ピクチャーエフェクト（つづき）	**ご注意** • 外部入力している画像には効果を加えられません。また、ピクチャーエフェクトを加えた画像は MICROMV端子からは出力されません。 **ちょっと一言** • ピクチャーエフェクトを加えた画像を“ メモリースティック　デュオ ”に取り込んだり（72ページ）、他のビデオへ録画したり（70ページ）できます。
メモリーミックス	詳しくは32ページをご覧ください。
再生ズーム	詳しくは39ページをご覧ください。
スライドショー	“ メモリースティック　デュオ ”内の画像すべて（または１つのフォルダ内の画像をすべて）を順番に自動再生（スライドショー）できます。 **1** 設定 をタッチする。 **2**［再生フォルダ選択］をタッチする。 **3**［全ファイル］か［フォルダ内］を選び、OK をタッチする。 ▷**全ファイル（all）**：“ メモリースティック　デュオ ”内の画像をすべて再生するときに選びます。 **フォルダ内（1）**：［再生フォルダ選択］（54ページ）で選んだフォルダ内の画像を再生するときに選びます。 **4**［繰り返し設定］をタッチする。 **5**［入］か［切］を選び、OK をタッチする。 ▷**入**：繰り返し再生するときに選びます。 **切**：スライドショーを一度だけで終了するときに選びます。 **6**［終了］をタッチする。 **7**［スタート］をタッチする。 “ メモリースティック　デュオ ”の画像が順番に再生されます。 スライドショーを中止するには［終了］を、一時停止するには［ポーズ］をタッチします。 **ちょっと一言** • ［スタート］をタッチする前に、－/＋でスライドショーを始める画像を選べます。 • スライドショーの画像に動画が含まれているときは、－（小さく）/＋（大きく）で音量を調節できます。
リサイズ	詳しくは75ページをご覧ください。

項目	設定
インターバル静止画記録	雲の動きや日照変化などを観測するときに便利です。一定時間おきに“ メモリースティック　デュオ ”へ静止画を記録します。 撮影　撮影　撮影 ウェイトタイム　ウェイトタイム **1** [設定] をタッチする。 **2** 希望のウェイトタイム（１分、5分、10分）を選び、[OK] をタッチする。 **3** ［入］を選び、[OK] をタッチする。 **▷切**　通常の撮影時に選びます。 **入（ ）**　一定時間おきに“ メモリースティック　デュオ ”へ静止画を撮影するときに選びます。 **4** [×] をタッチする。 が点滅します。 **5** フォトボタンを深く押す。 が点滅から点灯に変わり、インターバル静止画記録が始まります。 中止するには、手順３で［切］をタッチする。
デモモード	カセットや“ メモリースティック　デュオ ”を取り出し、電源スイッチを「撮る-テープ」にして約10分後にデモンストレーションを見ることができます。 **▷入**　初めて本機を使うときなど、どのような機能が付いているかを確認するときに選びます。 **切**　デモンストレーションを表示しないときに選びます。 **ちょっと一言** • 次のいずれかを行うと、デモンストレーションを中断できます。 ー デモンストレーション中に液晶画面をタッチする（約10分後に再開します）。 ー カセットか“ メモリースティック　デュオ ”を入れる。 ー 電源スイッチを「撮る-テープ」以外にする。 • バッテリー使用時に［自動電源オフ］が［５分後］に設定されている場合、電源を入れて何も操作しない状態が約５分以上続くと、自動的に電源が切れます（64ページ）。

(編集/変速再生)メニューを使う

—マルチ画面サーチ・タイトル・カセットラベル作成など

(編集/変速再生)メニューでは、「メニュー項目の使いかた」(45ページ)の操作で以下を設定できます。

▷の設定がお買い上げ時の設定です。調整できる項目は、電源スイッチの位置ごとに異なります。調整できない項目は表示されません。

項目	設定
変速再生	詳しくは36ページをご覧ください。
録画操作	詳しくは71、73ページをご覧ください。
録画操作	詳しくは71、72ページをご覧ください。
DVD作成	ソニーパーソナルコンピューター VAIOシリーズに接続して、本機のテープに録画した画像を簡単にDVDに書き込むことができます。 詳しくは別冊の「パソコン編」説明書をご覧ください。
エンドサーチ操作	**実行** エンドサーチを実行するときに選びます。最後に撮影した場面の約5秒間が再生され、自動的に止まります。 **中止** エンドサーチを中止するときに選びます。
カウンターリセット	テープカウンターをリセットします。 **1** [はい]をタッチする。 カウンターリセットを中止するには、[いいえ]をタッチする。 **2** [✕]をタッチする。
マルチ画面サーチ	詳しくは42ページをご覧ください。
タイトル	本機で入れたタイトルは、インデックスタイトラー機能付きのMICROMV方式対応のビデオでのみ見ることができます。画像にタイトルを付けておくと、再生時にタイトルサーチで画像を探すことができます。1つのカセットに20文字程度で20タイトルまで付けられます。撮影と同時に、または撮影したテープにタイトルを入れることができます。 **撮影と同時にタイトルを入れるには** 電源スイッチが「撮る-テープ」になっていることを確認する。 **1** 以前作成したオリジナルタイトル(２種類)と、本機にあらかじめ登録されているタイトルの中から、つけたいタイトルを選ぶ。 オリジナルタイトルは、以下の手順で作成します(各20文字以内で２種類まで)。

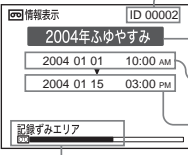
項目	設定
タイトル（つづき）	❶［オリジナル1 ""］か［オリジナル2 ""］を選び、をタッチする。 ❷［かな］（ひらがな入力）か［記号］（アルファベット・数字など）を選び、文字列を繰り返しタッチして、文字を入れる。 文字を消すとき：← をタッチする。 空白を入れるとき：→ をタッチする。 小さいひらがなを入れるとき：文字列を繰り返しタッチする。 ❸ → をタッチして□を右に移して、同様に次の文字を入れる。 ❹ 文字を入れ終わったら、OK をタッチする。 **2** OK をタッチする。 **3** （色）、▲/▼（位置）、［サイズ］を繰り返しタッチして、好きな色、位置、サイズを選ぶ。 **色：**白→黄色→紫→赤→水色→緑→青 **位置：**８～９段階から選べます。 **サイズ：**小さい↔大きい（13文字以上のときは「小さい」のみ） **4** OK をタッチする。 **5**［打込み］をタッチする。 ［タイトル打込み予約］が表示されます。 スタート/ストップボタンを押して、撮影を始めると同時に［タイトル打込み中］が表示され（約5秒間）、タイトルが記憶されます。 **撮影したテープにタイトルを入れるには** 撮影開始から約５秒間タイトルが記録されます。 電源スイッチが「見る/編集」になっていることを確認する。 **1** タイトルをつけたい場面を選ぶ。 ❶［タイトル入力］をタッチする。 ❷ ← / → をタッチして、スキャンする方向を選ぶ。 ❸ タイトルを入れたい場面のサムネイルをタッチして、［実行］または、もう一度サムネイルをタッチする。 **2**「撮影と同時にタイトルを入れるには」の手順１～４を行う。 **3**［打込み］をタッチする。 ［タイトル打込み中］が約５秒間表示され、タイトルが記憶されます。 サムネイル画面に戻ります。 **ご注意** • 他機で頭出ししたとき、タイトルを付けた場面が誤って頭出しされることがあります。 • お買い上げ時の設定では、バッテリー使用時に電源を入れて何も操作しない状態が約5分以上続くと、自動的に電源が切れます。タイトル作成に５分以上かかるときは、（基本設定）メニューで［自動電源オフ］を［なし］にすると、電源は切れません（64ページ）。万が一、途中で電源が切れても、作成中のタイトルは残っているので、電源を入れ直して、手順1からやり直してください。 • 漢字変換機能はありません。また、カタカナは使えません。

次のページへつづく➡

項目	設定
タイトル（つづき）	**ちょっと一言** • 作成したタイトルを変更するには、「撮影と同時にタイトルを入れるには」の手順1で作成したタイトルを選び、OK をタッチして、文字を選び直します。 • 電源スイッチが「見る/編集」のときは、［撮影したテープにタイトルを入れるには］の手順１の前に、［タイトル作成］をタッチしてオリジナルタイトルを作成できます。
タイトル消去	**1** ▲/▼ で消去するタイトルを選び、OK をタッチする。 **2** 消去するタイトルを確認し、［はい］をタッチする。 消去を中止するには、［いいえ］をタッチします。 **3** ✕ をタッチする。
タイトル表示	画像を見るときにタイトルを表示します。 ▷入　タイトルを入れてある場面で、タイトルを出すときに選びます。 切　タイトルを出さないときに選びます。
カセットラベル作成	カセットに16文字までの名前を付けられます。 電源スイッチを「撮る-テープ」にしてカセットを入れたとき、または「見る/編集」にしたとき、カセットラベルが約5秒間表示されます。 **1** ［かな］（ひらがな入力）か［記号］（アルファベット・数字など）を選び、文字列を繰り返しタッチして、文字を入れる。 カセットラベル作成 0:00:00 かな 記号 終了 あいうえお かきくけこ さしすせそ ← → たちつてと なにぬねの はひふへほ ゜ ゛ まみむめも やゆよ らりるれろ わをん OK カセットラベル作成 0:00:00 かな 記号 終了 ABC DEF GHI JKL MNO PQR ← → STU VWX YZ &?! ' . , /_ 123 45 678 90 入学 卒業式 運動 発表会 夏休み 祝完 年月日 才ヶ OK 文字を消すとき：← をタッチする。 空白を入れるとき：→ をタッチする。 小さいひらがなを入れるとき：文字列を繰り返しタッチする。 **2** → をタッチして□を右に移して、同様に次の文字を入れる。 **3** 文字を入れ終わったら、OK をタッチする。 **4** ✕ をタッチする。 **ご注意** • 漢字変換機能はありません。また、カタカナは使えません。 **ちょっと一言** • カセットラベルを消すには、← を繰り返しタッチして文字を消し、OK をタッチします。 • 作成したカセットラベルを変更するには、カセットを入れ、もう一度手順1から行います。 • カセットラベルを表示したくないときは、（基本設定）メニューで［情報表示］を［切］にしてください（64ページ）。

項目	設定
全消去	マイクロカセットメモリーに保存されている日付・タイトル・カセットラベルのデータを、1回ですべて消せます。 **1**［はい］を2回タッチする。 全消去を中止するには、［いいえ］をタッチします。 **2** ☒ をタッチする。 **ご注意** • 全消去すると、次の操作ができなくなります。 ー マルチ画面サーチ ー タイトルサーチ ー 日付サーチ

（基本設定）メニューを使う

—USB-撮るなど

（基本設定）メニューでは、「メニュー項目の使いかた」（45ページ）の操作で以下を設定できます。

▷の設定がお買い上げ時の設定です。調整できる項目は、電源スイッチの位置ごとに異なります。調整できない項目は表示されません。

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定</th></tr>
<tr><td>音量</td><td>詳しくは35、37ページをご覧ください。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">パネル設定</td><td>パネル明るさ
詳しくは16ページをご覧ください。</td></tr>
<tr><td>パネルバックライトレベル
液晶パネルの明るさを調節できます。録画される画像に影響ありません。
▷ノーマル　通常の設定（標準の明るさ）です。
明るい　画面が暗いと感じたときに選びます。

ご注意
• コンセントにつないで使うと、［パネルバックライトレベル］は自動的に［明るい］になります。
• ［明るい］を選ぶと、バッテリー撮影可能時間が約1割短くなります。</td></tr>
<tr><td>パネル色のこさ
1 −/＋をタッチして、液晶画面の濃さを調節する。
−　＋
−薄くなる　＋濃くなる
2 OKをタッチする。
3 ×をタッチする。
録画される画像に影響ありません。</td></tr>
<tr><td>ビデオ入力</td><td>付属のAV接続ケーブルを使用して他機と接続するとき、接続する映像端子を設定します。
▷ビデオ　AV接続ケーブルの映像プラグを使って、相手機から映像を入力するときに選びます。
Sビデオ　AV接続ケーブルのS映像プラグを使って、相手機から映像を入力するときに選びます。</td></tr>
</table>

項目	設定
USB-撮る	USBケーブル（付属）でつなぎ、カメラに映っている画像をパソコンなどで見ることができます（USBストリーミング機能）。詳しくは、別冊の「パソコン編」説明書をご覧ください。 **▷切**　USBストリーミング機能を使用しません。 **USBストリーム**　USBストリーミング機能を使用するときに選びます。
USB-見る/編集	USBケーブル（付属）でつなぎ、テープまたは“ メモリースティック　デュオ ”の画像をパソコンなどで見ることができます。詳しくは、別冊の「パソコン編」説明書をご覧ください。 **▷標準-USBモード**　“ メモリースティック　デュオ ”の画像を見るときに選びます。 **USBストリーム**　テープの画像を見るときに選びます。
データコード	**▷切**　再生中にデータコードを表示しないときに選びます。 **日付時刻データ**　再生中に日付・時刻を表示するときに選びます（40ページ）。 **カメラデータ**　再生中にカメラデータを表示するときに選びます。
残量表示	**▷オート**　次のときにテープ残量を約8秒間表示します。 ーカセットが入った状態で電源スイッチを「見る/編集」か「撮る-テープ」にして、テープ残量が確定したとき ー ▶❚❚（再生/一時停止）をタッチしたとき **入**　テープ残量を常に表示するときに選びます。
リモコン	**▷入**　付属のワイヤレスリモコンを使うときに選びます。 **切**　リモコンを使わないときに選びます。他機のリモコンによる誤動作を防ぎます。 **ご注意** • 電源を外してから５分以上経つと、自動的に［入］に戻ります。
録画ランプ	**▷入**　本体前面の録画ランプが撮影中に点灯します。 **切**　以下のときに選びます。本体前面の録画ランプが撮影中に点灯しません。 ー被写体に撮影していることを意識させたくないとき ー被写体に接近して撮影するとき ー録画ランプの赤色が被写体に反射してしまうとき

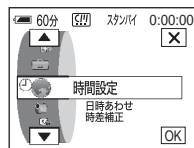
次のページへつづく➡

項目	設定	
情報表示	情報表示 ID 00002 2004年ふゆやすみ 2004 01 01 10:00 AM 2004 01 15 03:00 PM 記録ずみエリア	**本機が自動的に設定する、カセットごとの固有のIDナンバー（変更することはできません。）** **メニューの［ カセットラベル作成］で作成できる「カセットラベル」（カセットの名前）** **最初に記録した日時** **最後に記録した日時** **記録済みエリアが黄緑のバーで表示される**
	▷入	次のときにカセット情報を約5秒間表示します。 ー電源スイッチを「撮る-テープ」にして、カセットを入れたとき ー電源スイッチを「見る/編集」にしたとき
	切	カセット情報を表示しません。
おしらせブザー	**▷メロディ**	撮影スタート/ストップ時や、タッチパネルでの操作時や、誤った操作をしたときにメロディーで知らせます。
	ノーマル	メロディーの代わりにブザーで知らせるときに選びます。
	切	メロディー、ブザー、シャッター音やタッチパネルの操作音を出さないときに選びます。
画面表示	**▷パネル**	テープカウンターなどの画面表示を液晶画面に出すときに選びます。
	ビデオ出力/パネル	つないだテレビの画面にも画面表示を出すときに選びます。
	ご注意 • ［ビデオ出力/パネル］のとき、画面表示/バッテリーインフォボタンを押すと、外部入力ができなくなります。	
メニュー操作方向	画面上で▲または▼をタッチしたときのメニュー項目の回転の方向（上または下）を選びます。	
	▷ノーマル	▲を押すと、メニューが下方向にスクロールします。
	逆方向	▲を押すと、メニューが上方向にスクロールします。
自動電源オフ	**▷5分後**	自動電源オフを使うときに選びます。 電源を入れて何も操作しない状態が約5分以上続くと、バッテリーの消耗を防ぐために、自動的に電源が切れます。
	なし	自動電源オフを使わないときに選びます。
	ご注意 • コンセントにつないで使うと、自動的に［なし］になります。	

（時間設定）メニューを使う

―日時あわせ・時差補正

（時間/エリア設定）メニューでは、「メニュー項目の使いかた」（45ページ）の操作で以下を設定できます。

調整できる項目は、電源スイッチの位置ごとに異なります。調整できない項目は表示されません。

項目	設定
日時あわせ	日付・時刻を合わせます（17ページ）。
時差補正	本機を海外で使うときは、[－]/[＋]で時差を設定し、現地時刻に合わせることができます。時計を元に戻すには、時差を0に設定してください。

メニューで設定する

パーソナルメニューをカスタマイズする

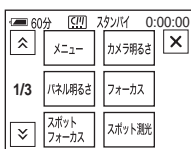
よく行う設定項目をパーソナルメニューに追加できます。また、追加した項目を並べ替えるなど、ご自分の使いやすいメニューにできます（カスタマイズ）。
電源スイッチの位置ごとにカスタマイズできます。

選べる項目を追加する—追加

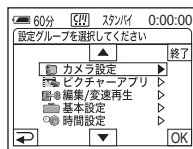
よく設定するメニュー設定項目をパーソナルメニューへ追加しておくと、次回からパーソナルメニューをタッチするだけで設定できます。

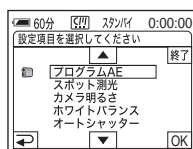
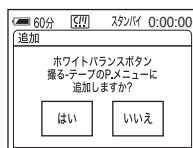
ご注意

- 「撮る-テープ」、「撮る-メモリー」、「見る/編集」の電源スイッチ位置ごとに、最大28項目まで登録できます。登録数がいっぱいのときは、不要な項目を削除してから追加してください（66ページ）。

1 [P.メニュー] をタッチする。

2 ［P.メニュー設定］をタッチする。

画面にないときは[⌃]/[⌄]をタッチして表示させます。

3 ［追加］をタッチする。

4 [▲]/[▼]で設定グループを選び、[OK]をタッチする。

表示される設定グループは、電源スイッチの位置ごとに異なります。選択できないときは表示されません。

5 [▲]/[▼]で項目を選び、[OK]をタッチする。

6 ［はい］をタッチする。

項目がパーソナルメニューの最後に追加されます。

7 [×] をタッチする。

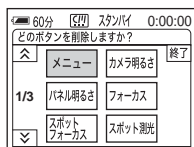
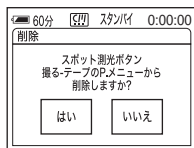
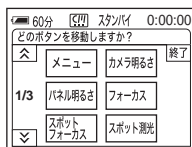
不要な項目を削除する—削除

電源スイッチの位置ごとに、不要な設定項目をパーソナルメニューから削除することができます。

1 [P.メニュー] をタッチする。

2 ［P.メニュー設定］をタッチする。

画面にないときは［⌃］/［⌄］をタッチして表示させます。

3 ［削除］をタッチする。

4 削除する項目をタッチする。

5 ［はい］をタッチする。

項目がパーソナルメニューから消えます。

6 ［×］をタッチする。

ご注意

• ［メニュー］と［P.メニュー設定］は削除できません。

パーソナルメニューの表示位置を替える―並べ替え

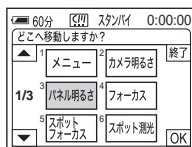
たくさんの項目をパーソナルメニューに追加しているとき、よく使う項目順に並び替えると便利です。

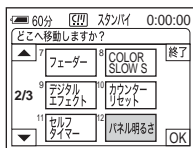
1 ［P.メニュー］をタッチする。

2 ［P.メニュー設定］をタッチする。

画面にないときは［⌃］/［⌄］をタッチして表示させます。

3 ［並べ替え］をタッチする。

4 移動する項目をタッチする。

5 ［▲］/［▼］をタッチして、移動させたい位置まで移動する。

次のページへつづく➡

6 OK をタッチする。
つづけて並べ替えるときは、手順4～6を行います。

7 ［終了］をタッチする。

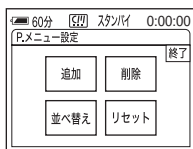
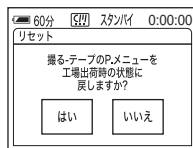
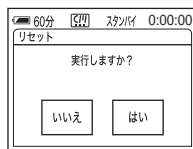
8 ☒ をタッチする。

ご注意
- ［P.メニュー設定］を並べ替えることはできません。

お買い上げ時の設定に戻す―リセット

パーソナルメニューの項目を追加・削除した後でも、お買い上げ時のパーソナルメニューに戻せます。

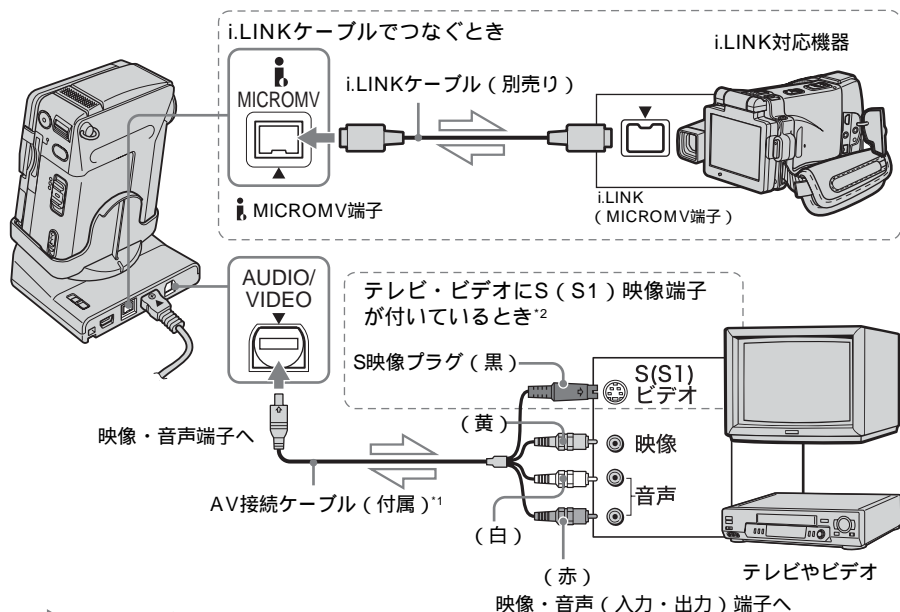
1 P.メニュー をタッチする。

2 ［P.メニュー設定］をタッチする。
画面にないときは⌃/⌄をタッチして表示させます。

3 ［リセット］をタッチする。

4 ［はい］をタッチする。

5 ［はい］をタッチする。
お買い上げ時の設定に戻ります。
リセットを中止するときは、［いいえ］をタッチしてください。

6 ☒ をタッチする。

ダビングや編集をする

ビデオ機器やテレビにつなぐ

ビデオやテレビの画像を本機のテープや“メモリースティック　デュオ”へダビングしたり（71ページ）、本機の画像を他の録画機へダビングしたりできます（70ページ）。
AV接続ケーブル（付属）で、ハンディカムステーションまたは本機の映像・音声端子と再生機や録画機をつなぎます。
電源は、付属のACアダプターをコンセントにつないでください（13ページ）。

*1付属のAV接続ケーブルには映像プラグとS映像プラグがあります。
*2接続先の機器にS（S1）映像端子が付いているときは、AV接続ケーブルの黄色いプラグ（映像）の代わりにS映像プラグを接続先の機器のS（S1）映像端子につないでください。MICROMV方式の高解像度を生かすためにはこの接続を行ってください。
S映像プラグのみをつないだ場合、音声は出力されません。

ご注意

- AV接続ケーブル（付属）を使ってつなぐときは、あらかじめ（基本設定）メニューで［画面表示］を［パネル］（お買い上げ時の設定）にしておいてください（64ページ）。

- 他機がモノラル （ひとつの音声入力・出力）の場合は、AV接続ケーブル（付属）の黄色いプラグを映像入力・出力へ、白いプラグ（左音声）または赤いプラグ（右音声）のどちらかを音声入力・出力へつなぎます。

◆i.LINKケーブルでつなぐには

- 本機とMICROMV方式対応のビデオ機器やテレビを i.LINKケーブル（別売り）でつなぎます。デジタル信号でやりとりするので、画質・音質の劣化がほとんどありません。映像または音声のみの記録はできません。詳しくは、96ページをご覧ください。

他のビデオへダビングする

本機の画像を他のビデオへ録画方式を問わず録画、編集できます。

1 本機とビデオをつなぐ（69ページ）。

2 ビデオの準備をする。

- 録画用カセットを入れる。
- 入力切り換えスイッチがある場合は「入力」にする。

3 本機の準備をする。

- 撮影済みのカセットを入れる。
- 電源スイッチを「見る/編集」にする。

4 本機で再生を始め、ビデオで録画する。

詳しくは、ビデオ取扱説明書をご覧ください。

5 ダビングが終わったら、ビデオの録画を停止し、本機の再生を停止する。

ご注意

- MICROMV端子接続ではタイトル、画面表示、マイクロカセットメモリーの内容、“ メモリースティック　デュオ ” のインデックス画面の文字は録画できません。
- AV接続ケーブルを使ってダビングするときは、本機の画面表示/バッテリーインフォボタンを押して、テープカウンターなどの表示を消してください（40ページ）。消さないでダビングするとテープに記録されます。
- 日付などのデータコードをダビングしたいときは、データコードを表示させてください（40ページ）。
- 「ピクチャーエフェクト」（55ページ）、「デジタルエフェクト」（31、36ページ）、「再生ズーム」（39ページ）を加えた画像は MICROMV端子からは出力されません。
- i.LINKケーブル接続時は、再生一時停止中の画像を録画すると、画像が粗くなることがあります。

ビデオ・テレビの画像を本機へ録画する

再生方式を問わずビデオの画像やテレビ番組を本機のテープや“ メモリースティック　デュオ ” に録画できます。“ メモリースティック　デュオ ” にはお気に入りの画面を静止画としても記録できます。
あらかじめ本機に録画用カセット、または“ メモリースティック　デュオ ” を入れておいてください。AV接続ケーブルで接続するときは、お使いになる機器にあわせて、（基本設定）メニューの［ビデオ入力］で入力方法を設定してください（62ページ）。

動画を記録する

1　テレビやビデオを再生機としてつなぐ（69ページ）。

2　ビデオの場合は、ダビングするカセットを入れる。

3　本機の電源スイッチを「見る/編集」にする。

4　本機で録画操作する。

テープのとき

1. P.メニュー をタッチする。
2. ［録画操作］をタッチする。
   画面にないときは / をタッチして表示させます。見つからないときは、メニューをタッチして（編集/変速再生）メニューから選びます。
3. ［録画ポーズ］をタッチする。

“ メモリースティック　デュオ ” のとき

1. P.メニュー をタッチする。
2. ［メニュー］をタッチする。
3. （編集/変速再生）メニューを選び、［録画操作］をタッチする。

5　ビデオを再生、またはテレビ番組を受信する。

再生側の画像が本機の画面に映ります。

6　録画を開始したい場面で［録画スタート］をタッチする。

7　録画をストップする。

テープのとき

■（停止）または［録画ポーズ］をタッチする。

“ メモリースティック　デュオ ” のとき

■（停止）または［録画ストップ］をタッチする。

8　 をタッチして、 をタッチする。

ご注意

- ビデオの場合は、録画操作の前に再生または再生一時停止状態にしてください。本機に入力信号がない状態で録画操作すると［信号を入力してください］というメッセージが出て、録画することができません。

ちょっと一言

- i.LINKケーブルでつなぐと、本機の画面に MPEGIN が表示されます（接続側の画面にも表示されることがあります）。
- “ メモリースティック　デュオ ” に動画を録画するときは、手順4を行わずに、手順6でスタート/ストップボタンを押して録画することができます。

静止画を記録する

1　「動画を記録する」（71ページ）の手順1～3を行う。

次のページへつづく➡

ダビングや編集をする

2 ビデオを再生、またはテレビ番組を受信する。

再生側の画像が本機の画面に映ります。

3 記録したい場面でフォトボタンを軽く押し、画像を確認したらフォトボタンを深く押す。

フォトボタンを深く押さない限り、指を離せば画像は選びなおすことができます。

テープに録画された画像を" メモリースティックデュオ " に取り込む

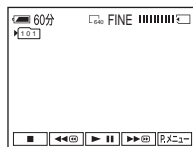
動画（音声はモノラル）または静止画（画像サイズは「640×480」固定）で" メモリースティック　デュオ " に記録できます。あらかじめ録画済みのカセットと" メモリースティック　デュオ " を入れておいてください。

1 電源スイッチを「見る/編集」にする。

2 取り込む場面を探して、録画を開始する。

静止画のとき

1 ▶II（再生）をタッチして、テープを再生する。

2 取り込む場面でフォトボタンを軽く押し、画面を確認して深く押す。

動画のとき

1 P.メニュー をタッチする。

2 ［メニュー］をタッチする。

3 （編集/変速再生）メニューから［録画操作］選び、タッチする。

4 ▶II（再生）をタッチして、テープを再生する。

5 録画を開始したい場面で［録画スタート］をタッチする。
6 止めたいところで［録画ストップ］をタッチする。
7 ■（停止）をタッチしてテープ再生を止める。
8 ↩をタッチして、✕をタッチする。

ご注意

- “ メモリースティック　デュオ ” に取り込んだときの日時は記録されますが、テープに記録されたタイトルやデータコードは記録できません。
- 音声は32kHzのモノラルで記録されます。

ちょっと一言

- 動画の録画時間について、詳しくは21ページをご覧ください。
- 動画のときはテープ再生中にスタート/ストップボタンを押しても、取り込めます。

“ メモリースティック デュオ ” に撮った静止画をテープにダビングする

あらかじめ記録用のカセットと “ メモリースティック　デュオ ” を入れておいてください。

1 **電源スイッチを「見る/編集」にする。**

2 **▶▶（早送り）または◀◀（巻戻し）をタッチしてダビングの開始点を探し、■（停止）をタッチする。**

3 **再生を押す。**

4 **－（前の画像）/＋（次の画像）をタッチして、ダビングする静止画を選ぶ。**

5 **P.メニューをタッチする。**

6 **［録画操作］をタッチする。**
画面にないときは⌃/⌄をタッチして表示させます。見つからないときは、メニューをタッチして（編集/変速再生）メニューから選びます。

7 **［録画ポーズ］をタッチする。**

8 **［録画スタート］をタッチする。**
テープへのダビングが始まります。

9 **止めたいところで、■（停止）、または［録画ポーズ］をタッチする。**

次のページへつづく➡

他の画像をダビングするときは、[－]/[＋]で静止画を選んで、手順7～9を繰り返してください。

10 をタッチして、をタッチする。

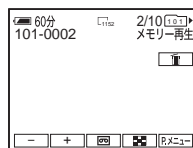
ご注意

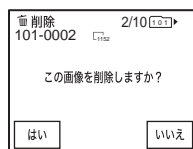
- MPEGムービー撮影した動画はダビングできません。
- インデックス画面はダビングできません。
- パソコンで加工した画像データや他機で撮影した画像データはダビングできないことがあります。

記録した画像を消す

"メモリースティック　デュオ" 内の画像をすべて、または選んで消せます。

1 電源スイッチを「見る/編集」にする。

2 [再生]をタッチする。

3 [－]（前の画像）/[＋]（次の画像）をタッチして、削除する画像を表示する。

4 をタッチする。

5 ［はい］をタッチする。

画像が削除されます。
削除をやめるには、［いいえ］をタッチする。

◆すべての画像を削除するには

（メモリー設定）メニューの［全消去］で消去します（53ページ）。

◆インデックス表示で画像を削除するには

６枚ずつ画像を一覧できるので、消す画像を簡単に探せます。

1 電源スイッチを「見る/編集」にする。

2 [再生]をタッチする。

3 [■]をタッチする。

4 [設定]をタッチする。

5 ［削除］をタッチする。

6 削除する画像をタッチする。
選んだ画像の上に が表示されます。
前後の6枚を表示するには、[︽]/[︾]をタッチします。

7 [OK]をタッチする。

8 ［はい］をタッチする。
画像が削除されます。
削除をやめるには、［いいえ］をタッチします。

ご注意

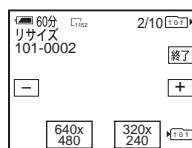
- 誤消去防止スイッチ付きの " メモリースティック デュオ " が誤消去防止になっているときやプロテクトされている画像（76ページ）は削除できません。
- いったん削除した画像は元に戻せません。削除する前に内容を確認してください。

静止画の画像サイズを変える —リサイズ

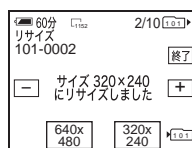
撮影後、画像サイズを「640×480」または「320×240」に変更できます。電子メールの添付用にサイズを小さくするときに便利です。リサイズしてもリサイズ前の画像はそのまま残ります。

1 電源のスイッチを「見る/編集」にする。

2 [P.メニュー]をタッチする。

3 ［リサイズ］をタッチする。
画面にないときは[︽]/[︾]をタッチして表示させます。見つからないときは、メニューをタッチして （ピクチャーアプリ）メニューから選びます。

4 [－]（前の画像）/[＋]（次の画像）をタッチして、サイズを変える画像を表示する。

5 ［640×480］か［320×240］をタッチする。
現在選ばれている記録フォルダに、新しいファイルとして記録されます。

次のページへつづく➡

6 ［終了］をタッチする。

◆リサイズしたときのメモリー容量

画像サイズ	メモリー容量
640×480	約150Kバイト
320×240	約16Kバイト

ご注意

- 他機で記録した画像は、本機でリサイズできないことがあります。
- 動画はリサイズできません。

記録した画像にマークを付ける

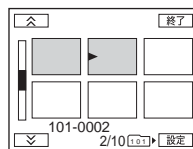
―プロテクト・プリントマーク

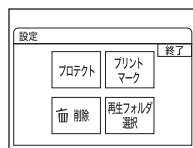
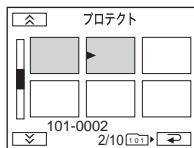
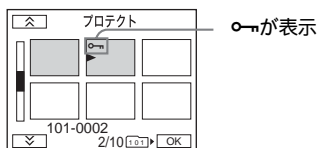
誤消去防止スイッチ付きの“メモリースティック デュオ”をご使用の場合は、あらかじめ誤消去防止を解除しておいてください。

記録した画像を保護する― プロテクト

大事な画像を誤って消さないために、画像に誤消去防止（プロテクト）指定できます。

1 電源スイッチを「見る/編集」にする。

2 再生 をタッチする。

3 をタッチする。

4 設定 をタッチする。

5 ［プロテクト］をタッチする。

6 プロテクトする画像をタッチする。

7 OK をタッチする。

8 ［終了］をタッチする。

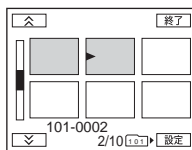
◆プロテクトを外すには

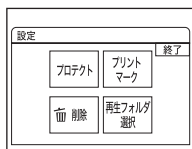
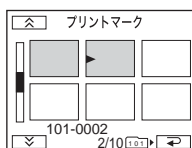
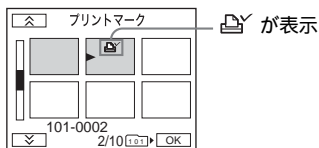
手順1～5を行い、手順6でプロテクトを外す画像をタッチする。
画像から、が消えます。

静止画にプリント用のマークを付ける― プリントマーク

画像を本機で見るときに後でプリントする静止画にマークを付けておけば、プリントするときに選び直す必要がありません（プリント枚数を指定することはできません）。
本機はプリントする画像を選択できるDPOF（Digital Print Order Format）規格に対応しています。

1 電源スイッチを「見る/編集」にする。

2 再生 をタッチする。

3 をタッチする。

4 設定 をタッチする。

5 ［プリントマーク］をタッチする。

6 プリントマークを付ける画像をタッチする。

7 OK をタッチする。

8 ［終了］をタッチする。

◆プリントマークを外すには

手順1～5を行い、手順6でプリントマークを外す画像をタッチする。
画像から、が消えます。

ダビングや編集をする

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、テクニカルインフォメーションセンター（裏表紙）にお問い合わせください。
また、液晶画面に「C:□□:□□」（□は数字）のように表示されたときは、自己診断表示機能が働いています。85ページをご覧ください。

全体操作について

症状	原因と対処のしかた
電源スイッチを「見る/編集」、「撮る-テープ」または「撮る-メモリー」にしても動作しない。	• バッテリーの消耗または消耗間近、未装着。 ➔充電されたバッテリーを取り付ける。（13ページ） ➔ACアダプターのプラグをコンセントに差し込む。（15ページ） • 本機がハンディカムステーションに正しく取り付けられていません。 ➔正しく取り付ける。（3ページ）
電源が入っているのに操作できない。	➔電源（バッテリーまたはACアダプターの電源コード）を取り外し、約1分後にもう一度電源を取り付ける。それでも操作できないときは、RESET（リセット）ボタンを先のとがったもので押す（RESETボタンを押すと、日時を含めパーソナルメニュー項目以外のすべての設定が解除されます）。
電源スイッチを「見る/編集」または「（充電）切」にして本機を動かすと、本体内部で「カタカタ」という音がする。	• 本機のレンズ機能の一部にリニア機構を採用しているためです。故障ではありません。
付属のワイヤレスリモコンが働かない。	➔ （基本設定）メニューで［リモコン］を［入］にする。（63ページ） ➔ボタン型リチウム電池の＋極と－極を正しく入れる。それでも働かないときは、ボタン型リチウム電池の寿命のため新しいボタン型リチウム電池に交換する。（105ページ） ➔リモコンと本体リモコン受光部の間にある障害物を取り除く。
本体があたたかくなる。	• 長時間電源を入れたままにしておいたためです。故障ではありません。

バッテリー・電源について

症状	原因と対処のしかた
バッテリーを充電中、CHG（充電）ランプが点灯していない。	➔バッテリーを正しく取り付け直す。それでも点灯しないときは、コンセントから電源が供給されていません。 • すでに充電が完了しています。（13ページ） ➔本機をハンディカムステーションに正しく取り付ける（3ページ）。
バッテリーを充電中にCHG（充電）ランプが点滅する。	➔バッテリーを正しく取り付け直す。それでも点滅するときは、コンセントからプラグを抜き、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。バッテリーが故障しているおそれがあります。（13ページ）
バッテリーの消耗が早い。	• 周囲の温度が極端に低い、または充電が不十分です。故障ではありません。 ➔満充電し直す。それでも、消耗が早いときは、バッテリーの寿命のため、新しいバッテリーに交換する。（13、94ページ）
バッテリー残量が正しく表示されない。	• 温度が極端に高いまたは低いところで長時間使用している、または充電が不十分です。故障ではありません。 ➔満充電し直す。それでも、正しく表示されないときは、バッテリーの寿命のため、新しいバッテリーに交換する。（13、94ページ）
バッテリー残量が充分あるのに電源がすぐ切れる。	• 残量表示にズレが生じている、または充電が不十分です。（94ページ） ➔満充電し直すと残量が正しく表示されます。（13ページ）
撮影中に電源が途中で切れる。	• （基本設定）メニューで［自動電源オフ］が［5分後］になっている。（64ページ） ➔電源を入れて何も操作しない状態が約5分以上続くと、バッテリーの消耗を防ぐために、自動的に電源が切れます。電源スイッチを下にずらしてもう一度電源を入れる。またはACアダプターを使用する。
ACアダプターを使用中、本機に不具合が生じる。	➔電源を切り、コンセントからプラグを抜いてから、もう一度電源をつなぐ。

カセットについて

症状	原因と対処のしかた
カセットが取り出せない。	➔電源（バッテリーやACアダプター）が正しく接続されているか確認する。（13ページ） ➔バッテリーを外して、もう一度取り付ける。（13ページ） ➔充電されたバッテリーを取り付ける。（13ページ）

次のページへつづく➔

症状	原因と対処のしかた
カセットカバーを開けてもテープが出てこない。	• 本機が結露しかけている。（97ページ）
テープ残量表示が出ない。	➔常に表示させたいときは、 (基本設定）メニューで［ 残量表示］を［入］にする。（63ページ）
カセットにラベルを付けられない。	➔カセットの誤消去防止ツマミを録画できる状態にする。（91ページ）

液晶画面について

症状	原因と対処のしかた
液晶画面に見慣れない画面が現れる。	• デモモードになっている（カセットや " メモリースティック　デュオ " を入れずに電源スイッチを「撮る-テープ」にして10分経つと自動的に表示されます）。液晶画面のどこかを押すと、デモンストレーションが中断されます。カセットや " メモリースティック　デュオ " を入れるとデモモードは始まりません。デモモードにしない設定もあります。（57ページ）
液晶画面に見慣れない表示が出る。	➔液晶画面の表示（107ページ）をご覧ください。
タッチパネルのボタンが表示されない。	➔液晶画面を軽くタッチする。 ➔画面表示/バッテリーインフォボタン（またはリモコンの画面表示ボタン）を押す。（40ページ）
タッチパネルのボタンが働かない・正しく働かない。	➔画面を調節（キャリブレーション）する。（98ページ）

撮影について

" メモリースティック　デュオ " のときは、「" メモリースティック　デュオ " について」（82ページ）の項目もご覧ください。

症状	原因と対処のしかた
スタート/ストップボタンを押しても、テープが走行しない。	➔電源スイッチを「撮る-テープ」にする。（16ページ） ➔テープが最後まで行っている。巻き戻すか、新しいカセットを入れる。 ➔カセットの誤消去防止ツマミを録画できる状態にする。または新しいカセットを入れる。（91ページ） ➔結露でテープがヘッドドラムに貼り付いている。カセットを取り出して、約1時間してからもう一度入れ直す。（97ページ）

症状	原因と対処のしかた
電源が途中で切れる。	• （基本設定）メニューで［自動電源オフ］が［5分後］になっている。（64ページ） ➔電源を入れて何も操作しない状態が約5分以上続くと、バッテリーの消耗を防ぐために、自動的に電源が切れます。電源スイッチを下にずらしてもう一度電源を入れる。またはACアダプターを使用する。 ➔バッテリーを充電する。（13ページ）
手ぶれ補正が働かない。	➔ （カメラ設定）メニューで［手ぶれ補正］を［入］にする。（50ページ）
オートフォーカスが働かない。	➔ （カメラ設定）メニューで［フォーカス］を［オート］にする。（29ページ） ➔オートフォーカスが働きにくい状態のときは、手動でピントを合わせる。（29ページ）
ろうそくの火やライトなどを暗い背景の中で撮ると、縦に帯状の線が出る。	• 背景とのコントラストが強い被写体のときに出る現象で、故障ではありません。
明るい被写体を映すと、縦に尾を引いたような画像になる。	• スミア現象と呼ばれるもので、故障ではありません。
画面に白や赤、青、緑の点が出ることがある。	• ［スローシャッター］、またはColor Slow Shutterのときに出る現象で、故障ではありません。（28、31ページ）
被写体が明るすぎて、白くとんでしまう。	➔逆光補正を解除する。（27ページ）
シャッター音が出ない。	➔ （基本設定）メニューで［おしらせブザー］を［メロディ］か［ノーマル］にする。（64ページ）
テレビやコンピューターの画面を撮影すると黒い帯が出る。	➔ （カメラ設定）メニューで ［手ぶれ補正］を［切］にする。（50ページ）
画像が明るくなる、ちらつく（フリッカー）、色が変化する。	➔蛍光灯・ナトリウム灯・水銀灯など放電管による照明下で、［ソフトポートレート］や［スポーツレッスン］モードで撮影したため。（カメラ設定）メニューで［プログラムAE］を［オート］にする。（47ページ）
エンドサーチが正しく働かない。	• テープに何も録画されていません。

再生について

“ メモリースティック　デュオ ” のときは、「“ メモリースティック　デュオ ” について」（82ページ）の項目もご覧ください。

症状	原因と対処のしかた
再生できない。	➔テープが最後まで行っているときは巻き戻す。（35ページ）

次のページへつづく➔

症状	原因と対処のしかた
画像に横線が入る、画像がぼけたり、映らなかったりする。	➔ビデオヘッドが汚れているため。別売りのクリーニングカセットできれいにする。（97ページ）
音声が小さい。または聞こえない。	➔音量を大きくする。（35、37ページ） ➔Ｓ映像プラグだけでつないでいるため。AV接続ケーブルの白と赤のプラグもあわせてつなぐ。（41、69ページ）
音声が途切れる。	➔ビデオヘッドが汚れているため。別売りのクリーニングカセットできれいにする。（97ページ）
マルチ画面サーチ、タイトルサーチ、日付サーチができない。	• テープの始めや途中に無記録部分がある。故障ではありません。（42ページ）
[---- -- --] が表示される。	• 日付・時刻を設定しないで録画したテープを再生している。（17、40ページ） • テープの無記録部分を再生している。 • テープに傷やノイズがあるため、データコードが読めない。
ノイズが現れ、画面上に PAL と表示される。	• テープに記録されているTVカラーシステムがPALなど、本機のカラーシステム（NTSC）と違うため、見ることはできません。故障ではありません。（90ページ）
再生中、画像が約１秒程度静止する。	• 撮影のつなぎ目を再生すると、画像が約１秒程度静止します。故障ではありません。

“ メモリースティック　デュオ ” について

症状	原因と対処のしかた
操作を受け付けない。	➔電源スイッチを「撮る-メモリー」か「見る/編集」にする。（16ページ） ➔“ メモリースティック　デュオ ” を入れる。（19ページ） • パソコンでフォーマットした “ メモリースティック　デュオ ” を入れている。 ➔本機でフォーマットする。ただし、記録されているデータはすべて消去されます。
撮影できない。	➔すでにメモリー容量いっぱいになっているため、不要な画像を消してから撮影する。（74ページ） ➔本機で “ メモリースティック　デュオ ” をフォーマットし直すか、別の “ メモリースティック　デュオ ” を入れる。（53ページ） ➔誤消去防止スイッチのある “ メモリースティック　デュオ ” を使用している場合は、誤消去防止スイッチの「LOCK」を解除する。（92ページ） • 本機は「100MSDCF」フォルダに画像を記録できません。再生のみできます。

症状	原因と対処のしかた
正しい画像サイズで再生できない。	• 他機で撮影した画像は、画像サイズが正しく表示されないことがあります。故障ではありません。
画像データが再生できない。	➔USBモードになっているため。USB接続を終了して、ハンディカムステーションの ψ（USB）ON/OFFスイッチをOFFにする。 • パソコンでフォルダやファイルなどの名前を変更、または画像を加工すると、再生できない場合があります（ファイル名が点滅します）。故障ではありません。（92ページ） • 他機で撮影した画像は、再生できないことがあります。故障ではありません。（92ページ）
画像を消去できない。	➔誤消去防止スイッチのある“ メモリースティック　デュオ ”を使用している場合は、誤消去防止スイッチの「LOCK」を解除する。（92ページ） ➔プロテクトを解除する。（76ページ） • インデックス表示で１回に消せる画像は100枚までです。101枚以上選んでいるときは分けて消してください。
フォーマットが実行できない。	➔誤消去防止スイッチのある“ メモリースティック　デュオ ”を使用している場合は、誤消去防止スイッチの「LOCK」を解除する。（92ページ）
全消去が実行できない。	➔誤消去防止スイッチのある“ メモリースティック　デュオ ”を使用している場合は、誤消去防止スイッチの「LOCK」を解除する。（92ページ）
プロテクトが実行できない。	➔誤消去防止スイッチのある“ メモリースティック　デュオ ”を使用している場合は、誤消去防止スイッチの「LOCK」を解除する。（92ページ） ➔インデックス表示にしてから、プロテクトを実行し直す。（76ページ）
プリントマークが実行できない。	➔誤消去防止スイッチのある“ メモリースティック　デュオ ”を使用している場合は、誤消去防止スイッチの「LOCK」を解除する。（92ページ） ➔インデックス表示にしてから、プリントマークを実行し直す。（77ページ） • プリントマークは1000枚以上付けられません。 • 動画には付けられません。
リサイズできない。	• 他機で撮影した画像は、リサイズできないことがあります。故障ではありません。 • 動画はリサイズできません。
データファイル名が正しくない。	• ディレクトリー構造が規格に準拠していないと、ファイル名のみ表示されることがあります。 • ファイルが壊れている。 • 本機で対応していないファイル形式を使っている。（92ページ）

次のページへつづく➔

症状	原因と対処のしかた
データファイル名が点滅している	• ファイルが壊れている。 • 本機で対応していないファイル形式を使っている。（92ページ）

ダビング・編集について

症状	原因と対処のしかた
本機につないだ機器（外部入力）の映像が、液晶画面に映らない。	➔ （基本設定）メニューで［画面表示］を［パネル］にする。（64ページ） ➔ （基本設定）メニューで［ビデオ入力］を正しく設定する。（62ページ）
AV接続ケーブルを使ってダビングできない。	➔ （基本設定）メニューで［画面表示］を［パネル］にする。（64ページ） ➔ （基本設定）メニューで［ビデオ入力］を正しく設定する。（62ページ）
外部から入力した映像が正しく表示されない。	• NTSC方式以外の画像です。
タイトルを入れられない。	➔タイトルがすでに20件入っているときは、不要なタイトルを消す。（60ページ） ➔カセットの誤消去防止ツマミを録画できる状態にする。（91ページ） • タイトルはテープの無記録部分には入れられません。
タイトルが出ない。	➔ （編集/変速再生）メニューで［ タイトル表示］を［入］にする。（60ページ）
タイトルを消せない。	➔カセットの誤消去防止ツマミを録画できる状態にする。（91ページ）
タイトルサーチできない。	➔タイトルが入っていないときは、1つ以上タイトルを入れる。（58ページ） • テープの始めや途中に無記録部分がある。故障ではありません。
テープから“ メモリースティック　デュオ ”へ静止画を取り込めない。	• 繰り返しダビングしているなど、記録状態の悪いテープは録画できないことや乱れた画像を記録することがあります。
テープから“ メモリースティック　デュオ ”へ動画を取り込めない。	• 以下の場合、録画できないことや、乱れた画像を記録することがあります。 ーテープに無記録部分がある。 ー繰り返しダビングしているなど記録状態の悪いテープから画像を取り込もうとした。 ー入力信号が途絶えた。

警告表示とお知らせメッセージ

自己診断表示/警告表示

液晶画面には、以下のように表示されます。詳しい説明は、（　）内のページをご覧ください。

表示	原因と対処のしかた
C:□□:□□/E:□□:□□ （自己診断表示）	お客様自身で対応できる場合でも、2、3回繰り返しても正常に戻らないときは、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。 **C:04:□□** ➔“インフォリチウム”以外のバッテリーが使われているため。必ず“インフォリチウム”バッテリーを使ってください。（94ページ） **C:21:□□** ➔結露しているため。カセットを取り出して、約1時間してからもう一度入れ直す。（97ページ） **C:22:□□** ➔ビデオヘッドが汚れているため。別売りのクリーニングカセットできれいにする。（97ページ） **C:31:□□/C:32:□□** • 上記以外の症状になっている。 ➔カセットを入れ直し、もう一度操作し直す。ただし、本機が結露気味のときは、この操作をしないでください。（97ページ） ➔電源をいったん取り外し、取り付け直してからもう一度操作し直す。 ➔テープを交換する。 **E:61:□□/E:62:□□** • 修理が必要と思われます。テクニカルインフォメーションセンターに問い合わせていただき、E から始まる数字すべてをお知らせください。
101-1000 （ファイル関連の警告）	• ファイルが壊れている。 • 扱えないファイル。 • 動画ファイルをメモリーミックスしようとした。（32ページ）

困ったときは

次のページへつづく➡

表示	原因と対処のしかた
（バッテリー残量に関する警告）	• バッテリー残量が少ない。 • 使用状況や環境、バッテリーパックによっては、バッテリー残量が約5～10分でも警告表示が点滅することがあります。
（マイクロカセットメモリー関連の警告）*	**遅い点滅** • カセットを取り出し、もう一度入れる。それでも警告が消えなければ、カセットに搭載されているマイクロカセットメモリーが故障している可能性があります。 **早い点滅** • 本機のマイクロカセットメモリー制御機能が故障している可能性があります。
（結露の警告）*	→カセットを取り出し、電源を外して、カセット入れを開けたまま、約1時間放置する。（97ページ）
（“ メモリースティックデュオ ” 関連の警告）	**遅い点滅** •“ メモリースティック　デュオ ” が入っていない。 **速い点滅** • 取り込めない画像を記録しようとした。*
（“ メモリースティックデュオ ” フォーマット関連の警告）*	•“ メモリースティック　デュオ ” が壊れている。 •“ メモリースティック　デュオ ” が正しくフォーマットされていない。（53ページ）
（非対応 “ メモリースティック　デュオ ” 関連の警告）*	• 本機では使えない “ メモリースティック　デュオ ”を入れた。
（テープ関連の警告）	**遅い点滅** • テープ残量が5分を切った。 • カセットが入っていない。* • カセットが誤消去防止状態になっている。*（91ページ） **速い点滅** • テープが終わっている。*
≜（テープを取り出す必要がある警告）*	**遅い点滅** • カセットが誤消去防止状態になっている。（91ページ） **速い点滅** • 結露している。（97ページ） • 自己診断表示が表示されている。（85ページ）
（画像消去に関する警告）*	• 画像が消去できないようになっている。（76ページ）
（“ メモリースティック　デュオ ” の誤消去防止関連警告）*	•“ メモリースティック　デュオ ” が誤消去防止状態になっている。（92ページ）

* 警告表示・お知らせメッセージが出るときに、「おしらせブザー」が鳴ります。

お知らせメッセージ一覧

警告表示とともに、以下のお知らせメッセージが表示されます。メッセージに従って操作してください。

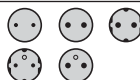
事項	表示	原因と対処のしかた
バッテリー	“インフォリチウム”バッテリーを使ってください	→詳しくは94ページをご覧ください。
	バッテリーを取りかえてください	→詳しくは13ページをご覧ください。
	このバッテリーは古くなりました　取りかえてください	ー
	⏏ 電源を取り付けなおしてください	ー
結露	⏏ 結露しています　カセットを取り出してください	→詳しくは97ページをご覧ください。
	結露しています　約1時間放置してください	→詳しくは97ページをご覧ください。
カセット	カセットを入れてください	→詳しくは18ページをご覧ください。
	⏏ カセットを入れなおしてください	• カセットが壊れている可能性があります。
	⏏ カセットの誤消去防止ツマミを確認してください	→詳しくは91ページをご覧ください。
	テープが終わっています	ー
	マイクロカセットメモリーにアクセスできません　テープを入れなおしてください	ー
“メモリースティック デュオ”	メモリースティックを入れてください	→詳しくは19ページをご覧ください。
	メモリースティックを入れなおしてください	→“メモリースティック　デュオ”を2，3回入れ直す。それでも表示されるときは“メモリースティック　デュオ”が壊れていることがあるので交換してください。
	書き込み中にメモリースティックが抜かれました　データが壊れた可能性があります	ー
	読み出し専用のメモリースティックです	→書き込みができる“メモリースティック デュオ”を入れる。
	非対応のメモリースティックです	• 本機では使えない“メモリースティック デュオ”が入っています。（92ページ）
	このメモリースティックはフォーマットが違います	• 本機で認識できないフォーマットの“メモリースティック　デュオ”が入っています。

次のページへつづく➡

事項	表示	原因と対処のしかた
“ メモリースティック デュオ ”	このファイルは頭出しできません	• 本機ではパソコンで加工された動画や他機で記録した動画を頭出しできないことがあります。
	このメモリースティックは空き容量がたりません　これ以上は記録できません	➔不要な画像を削除する。（74ページ）
	メモリースティックの誤消去防止ツマミを確認してください	➔詳しくは92ページをご覧ください。
	再生できません　メモリースティックを入れなおしてください	ー
	記録できません　メモリースティックを入れなおしてください	ー
	ファイルがありません	•“ メモリースティック　デュオ ” になにも記録されていないか、または認識できる画像がありません。
	USBストリーミング中です メモリースティックの記録・再生はできません	• USBストリーミング中に、記録または再生しようとしています。
	メモリースティックのフォルダがいっぱいです	• 本機では「999MSDCF」フォルダまでしか作成できません。 ➔いったん作成したフォルダは、本機で削除できません。“ メモリースティック　デュオ ” をフォーマットするか（53ページ）、パソコンなどで削除してください。
	静止画記録できない状態です	ー
クリーニング	ヘッドが汚れています クリーニングカセットを使ってください	➔詳しくは97ページをご覧ください。
	クリーニングテープを取り出してください	➔詳しくは97ページをご覧ください。
	電源スイッチを撮る-テープか見る/編集に切り替えてください	➔クリーニングテープは「撮る-メモリー」では使用できません。電源スイッチを切り換えてください。
	クリーニングテープが終わっています　取り出してください	➔詳しくは98ページをご覧ください。
レンズカバー	レンズカバーが開ききっていません　電源を入れなおしてください	➔詳しくは16ページをご覧ください。

事項	表示	原因と対処のしかた
レンズカバー	レンズズカバーを閉じられませんでした　レンズカバーを閉じたい場合は電源を入れなおしてください	➔詳しくは16ページをご覧ください。
	レンズカバーを閉じられませんでした	➔電源を切って、入れなおしてください。（16ページ）
その他	メモリー上の動画はテープには記録できません	ー
	非対応の入力信号です	ー
	コピープロテクトされています　記録できません	ー
	20タイトル打ち込まれています　これ以上打ち込めません	➔不要なタイトルを消してください。（60ページ）
	撮る-テープのＰ.メニューにはすでに登録されています	ー
	撮る-メモリーのＰ.メニューにはすでに登録されています	ー
	見る/編集のＰ.メニューにはすでに登録されています	ー

海外で使う

◆電源について

本機は、海外でも使えます。
付属のACアダプターは、全世界の電源（AC100V～240V・50/60Hz）で使えます。
また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国や地域では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。
電子式変圧器（トラベルコンバーター）は使わないでください。故障の原因となることがあります。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例	主に北米	主にヨーロッパなど
使用する変換プラグアダプター	不要です。	

◆カラーテレビ方式について

再生画像を見るには、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC、表参照）で、映像・音声入力端子付きのテレビ（またはモニター）と接続ケーブルが必要です。

テレビ方式	対象
NTSC	アメリカ合衆国、エクアドル、エルサルバドル、ガイアナ、カナダ、キューバ、グアテマラ、グアム、コスタリカ、コロンビア、サモア、スリナム、セントルシア、大韓民国、台湾、チリ、ドミニカ、トリニダード・トバコ、ニカラグア、日本、ハイチ、パナマ、バミューダ、バルバドス、フィリピン、プエルトリコ、ベネズエラ、ペルー、ボリビア、ホンジュラス、ミクロネシア、ミャンマー、メキシコ　など

◆時差補正機能について

海外で使うとき、（時間設定）メニューの［時差補正］を設定すると、時刻を現地時間に合わせることができます。詳しくは65ページをご覧ください。

ビデオカセットについて

本機はMICROMV方式のビデオカメラレコーダーです。**本機は、MICROMVカセットのみ使えます。**
MICROMV マークが付いたカセットを使ってください。

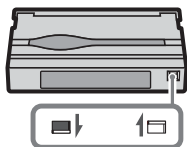
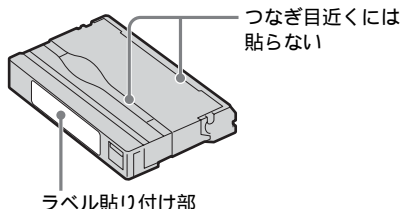
micro Cassette Memory 、MICROMV および MICROMV はソニー株式会社の商標です。

◆著作権保護信号について

再生するとき
本機で再生されるカセットに著作権保護のための信号が記録されている場合には、他機をつないで本機の画像を記録するとき、記録が制限されることがあります。

記録するとき
著作権保護のための信号が記録されている映像音声は本機で記録することはできません。
このような映像音声を記録しようとすると、液晶画面に［コピープロテクトされています 記録できません］の表示が現れます。
なお、ビデオカメラで撮影した画像には、著作権保護のための信号は記録されません。

◆取り扱い上のご注意

間違って消さないために
カセットの背にある誤消去防止ツマミを誤消去防止状態にします。

ラベルは指定の位置に
カセットにラベルを貼るときは、指定の位置に正しくお貼りください。指定外の位置に貼ると、故障の原因になります。

カセットの使用後は
ご使用後は必ずテープを巻き戻してください（画像や音声が乱れる原因となります）。巻き戻したテープはケースに入れ、立てて保管してください。

カセットメモリー機能が働かないときは
カセットを入れ直してください。

“ メモリースティック ” について

“ メモリースティック ”（"Memory Stick"）は小さくて軽いのに、フロッピーディスクより大容量のIC記録メディアです。
本機は、標準の“ メモリースティック ” の約半分の大きさの“ メモリースティック　デュオ ” のみ使えます。ただし、すべての“ メモリースティック　デュオ ” の動作を保証するものではありません。

“ メモリースティック ” の種類	記録・再生
メモリースティック	ー
メモリースティック　デュオ*1	○
マジックゲート　メモリースティック	ー
マジックゲート/高速データ転送　メモリースティック　デュオ*1	○*2*3
マジックゲート　メモリースティック　デュオ*1	○*3
メモリースティック　PRO	ー
メモリースティック　PRO デュオ*1	○

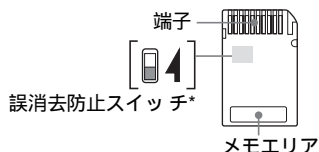
*1 標準の約半分大のサイズです。
*2 高速データ転送に対応した“ メモリースティック ” です。転送速度はお使いになる機器により異なります。
*3“ マジックゲート ” とは暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。本機ではマジックゲート機能を使ったデータは記録・再生できません。

- 静止画の圧縮形式（JPEG）：本機は、撮影した静止画データをJPEG（Joint Photographic Experts Group）方式で圧縮/記録しています。ファイル拡張子は「.JPG」です。
- 動画の圧縮形式（MPEG）：本機は、撮影した動画データをMPEG（Moving Picture Experts Group）方式で圧縮/記録しています。ファイル拡張子は「.MPG」です。
- 静止画の場合の画像のデータファイル名：
  ー本機の画面表示：101-0001
  ーパソコンの画面表示：DSC00001.JPG
- 動画の場合の画像のデータファイル名：
  ー本機の画面表示：MOV10001
  ーパソコンの画面表示：
  MOV10001.MPG
- パソコンでフォーマット（初期化）した“ メモリースティック ” について：パソコン（Windows OS/Mac OS）でフォーマットした“ メモリースティック ” は、本機での動作を保証致しません。
- お使いの“ メモリースティック ” と機器の組み合わせによっては、データの読み込み/書き込み速度が異なります。

◆記録されている画像データを誤って消さないためには

誤消去防止スイッ チ*を先の細いものでスライドさせて、「LOCK」にする。
モデルによっては、誤消去防止スイッ チ*の位置や形状が異なる場合があります。

*本機に付属の“ メモリースティック　デュオ ” には誤消去防止スイッ チはついていません。
モデルによっては、誤消去防止スイッ チがないものがあります。

“ メモリースティック　デュオ ” 裏

◆取り扱い上のご注意

以下の場合、画像ファイルが破壊されることがあります。破壊された場合、内容の補償については、ご容赦ください。

ー画像ファイルを読み込み中、または“ メモリースティック　デュオ ” にデータを書き込み中（アクセスランプが点灯中および点滅中）に、“ メモリースティック　デュオ ” を取り出したり、本機の電源を切ったりした場合
ー静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使った場合

大切なデータは、パソコンのハードディスクなどへバックアップを取っておくことをおすすめします。

取り扱いについて
以下のことを守ってください。
ーメモエリアに書き込むときは、あまり強い圧力をかけないでください。
ー“ メモリースティック　デュオ ” 本体およびメモリースティック　デュオ　アダプターにラベルなどは貼らないでください。
ー持ち運びや保管の際は、“ メモリースティック　デュオ ” に付属の収納ケースに入れてください。
ー端子部に触れたり、金属を接触させたりしないでください。
ー強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
ー分解したり、改造したりしないでください。
ー水にぬらさないでください。
ー小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込む恐れがあります。
ー“ メモリースティック ” スロットには対応する “ メモリースティック　デュオ ” 以外は入れないでください。故障の原因となります。

使用場所について
以下の場所での使用や保管は避けてください。
ー高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
ー直射日光のあたる場所
ー湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

メモリースティック　デュオ　アダプター（付属）の使用について
• “ メモリースティック　デュオ ” を “ メモリースティック ” 対応機器でお使いの場合は、必ず “ メモリースティック　デュオ ” をメモリースティック　デュオ　アダプターに入れてからお使いください。
• “ メモリースティック　デュオ ” をメモリースティック　デュオ　アダプターに入れるときは、正しい挿入方向をご確認の上、奥まで差し込んでください。差し込みかたが不十分だと正常に動作しない場合があります。
• メモリースティック　デュオ　アダプターに “ メモリースティック　デュオ ” が装着されない状態で、“ メモリースティック ” 対応機器に挿入しないでください。このような使いかたをすると、機器に不具合が生じることがあります。

“ メモリースティック　デュオ ”（マジックゲート/高速データ転送）および “ メモリースティック　PRO　デュオ ” についてのご注意
• 本機で動作確認されている “ メモリースティック　PRO　デュオ ” は512MBまで、“ メモリースティック　デュオ ”（マジックゲート/高速データ転送）は128MBまでです。
• 本機はパラレルインターフェースを利用した高速データ通信には対応していません。

◆画像の互換性について
• 本機は（社）電子情報技術産業協会にて制定された統一規格 "Design rule for Camera File systems" に対応しています。
• 統一規格に対応していない機器（DCR-TRV900, DSC-D700/D770）で記録された静止画像は本機では再生できません。
• 他機で使用した “ メモリースティック　デュオ ” が本機で使えないときは、53ページの手順にしたがい本機でフォーマット（初期化）をしてください。フォーマットすると “ メモリースティック　デュオ ” に記録してあるデータはすべて消去されますので、ご注意ください。
• 次の場合、正しく画像を再生できないことがあります。
ーパソコンで加工した画像データ
ー他機で撮影した画像データ

• "Memory Stick"（“ メモリースティック ”）MEMORY STICK ™ と"MagicGate Memory Stick"（“ マジックゲート メモリースティック ”）はソニー株式会社の商標です。

次のページへつづく ➡

- “ メモリースティック　デュオ ”と“ MEMORY STICK DUO ”はソニー株式会社の商標です。
- “ メモリースティック　PRO ”と“ MEMORY STICK PRO ”はソニー株式会社の商標です。
- “ マジックゲート ”と“ MAGICGATE ”はソニー株式会社の商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文ではTM、®マークは明記していません。

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーについて

本機は“ インフォリチウム ”バッテリー（Fシリーズ）対応です。それ以外のバッテリーは使えません。“ インフォリチウム ”バッテリー Fシリーズには InfoLITHIUM F SERIES マークがついています。

◆InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーとは？

“ インフォリチウム ”バッテリーは、本機や別売りのACアダプター /チャージャーとの間で、使用状況に関するデータを通信する機能を持っているリチウムイオンバッテリーです。

“ インフォリチウム ”バッテリーが、本機の使用状況に応じた消費電力を計算してバッテリー残量を分単位で表示します。別売りのACアダプター /チャージャーを使うと、使用可能時間や充電終了時間も計算して表示します。

◆充電について

- 本機を使う前には、必ずバッテリーを充電してください。
- 周囲の温度が10～30℃の範囲で、CHG（充電）ランプが消えるまで充電することをおすすめします。これ以外では効率の良い充電ができないことがあります。
- 充電終了後は、ACアダプターをDC IN端子から抜く、本機をハンディカムステーションから取り外す、あるいはバッテリーを取り外してください。

◆バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が10℃未満になるとバッテリーの性能が低下するため、使える時間が短くなります。安心してより長い時間使うために、以下のことをおすすめします。
  - ーバッテリーをポケットなどに入れてあたたかくしておき、撮影の直前、本機に取り付ける。
  - ー高容量バッテリー「NP-FF70/FF71（別売り）」を使う。
- 再生/早送り/巻き戻しなどを頻繁にすると、バッテリーの消耗が早くなります。高容量バッテリー「NP-FF70/FF71（別売り）」のご使用をおすすめします。
- 本機で撮影や再生中は、こまめに電源スイッ チを切るようにしましょう。撮影スタンバイ状態や再生一時停止中でもバッテリーは消耗しています。
- 撮影には予定撮影時間の2～3倍の予備バッテリーを準備して、事前に試し撮りをしましょう。
- バッテリーは防水構造ではありません。水などにぬらさないようにご注意ください。

◆バッテリーの残量表示について

- バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、再度満充電してください。残量が正しく表示されます。ただし長時間高温で使ったり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリーは正しい表示に戻らない場合があります。撮影時間の目安として使ってください。
- バッテリー残量時間が約5～10分でも、ご使用状況や周囲の温度環境によってはバッテリー残量が残り少なくなったことを警告するマークが点滅することがあります。

◆バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために1年に1回程度満充電にして本機で使い切ってください。本機からバッテリーを取り外して、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、カセットを入れずに電源が切れるまで撮影スタンバイにしてください。

◆バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

InfoLITHIUM（インフォリチウム）はソニー株式会社の商標です。

i.LINK（アイリンク）について

本機のi.LINK（MICROMV端子）はi.LINKに準拠したMICROMV端子です。ここでは、i.LINKの規格や特長について説明します。

◆i.LINKとは？

i.LINKはi.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェースです。
i.LINK対応機器は、i.LINKケーブル1本で接続できます。多彩なデジタルAV機器を接続して、操作やデータのやりとりができることが考えられています。
複数のi.LINK対応機器を接続した場合、直接つないだ機器だけでなく、他の機器を介してつながれている機器に対しても、操作やデータのやりとりができます。
ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作のしかたが異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。

ご注意

- i.LINKケーブルで本機と接続できる機器は通常１台だけです。複数接続できるMICROMV対応機器と接続するときは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言

- i.LINK（アイリンク）はIEEE1394の親しみやすい呼称としてソニーが提案し、国内外多数の企業からご賛同いただいている商標です。
- IEEE1394は電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。

◆i.LINKの転送速度について

本機の最大転送速度は「S400」です。
i.LINKの最大データ転送速度は機器によって違い、以下の3種類があります。

S100（最大転送速度　約100 Mbps*）
S200（最大転送速度　約200 Mbps）
S400（最大転送速度　約400 Mbps）

転送速度は各機器の取扱説明書の「主な仕様」欄に記載され、また、機器によってはi.LINK端子周辺に表記されています。
本機以外、特に転送速度の記載がされていない機器の最大転送速度は「S100」です。
最大データ転送速度が異なる機器と接続した場合、転送速度が表記と異なることがあります。

* Mbpsとは？
「Mega bits per second」の略で「メガビーピーエス」と読みます。1秒間に通信できるデータの容量を示しています。100 Mbpsならば100メガビットのデータを送ることができます。

◆本機でのi.LINK操作は

他のi.LINK（MICROMV端子）付きビデオとつないでダビングする方法については69ページをご覧ください。
また、本機はビデオ機器以外のソニー製i.LINK対応機器（パーソナルコンピューター VAIOシリーズなど）とも接続してご使用になれます。
なお、デジタルテレビ、DVD、DVなどの映像機器には、i.LINK端子を搭載しながらも、MICROMV機器とは対応できない仕様のものがあります。これは同じMPEG2を採用しているビデオ機器でも信号の内容に違いがあるためです。接続の際はあらかじめMICROMV対応の有無をご確認ください。
接続の際のご注意および、本機に対応したアプリケーションソフトの有無などについては、接続する機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

◆必要なi.LINKケーブル

ソニーのi.LINKケーブルをお使いください。
4ピン←→4ピン（MPEG2ダビング時）

---

i.LINK、i はソニー株式会社の商標です。

取り扱い上のご注意とお手入れ

◆使用・保管場所について

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。

- 異常な高温や低温になる場所
  炎天下や熱器具の近く、夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動や強力な磁気のある場所
  故障の原因になります。
- 強力な電波を出す場所や放射線のある場所
  正しく撮影できないことがあります。
- TV、ラジオやチューナーの近く
  雑音が入ることがあります。
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  砂がかかると故障の原因になるほか、修理できなくなることもあります。
- 液晶画面やレンズが太陽に向いたままとなる場所（窓際や室内など）
  液晶画面を傷めます。
- 湿度の高い場所

長時間使用しないときは
3分間ほど再生するなどして、ときどき電源を入れてください。

ご注意
- 本機とハンディカムステーション両方に、AV接続ケーブルやACアダプターをつなげて使用しないでください。故障の原因になります。

◆結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の心臓部であるヘッドやテープ、レンズに水滴が付くことです。テープがヘッドに貼り付いて、ヘッドやテープを傷めたり、故障の原因になります。結露が起こると、［◙ ⏏結露しています　カセットを取り出してください］または、［◙結露しています　約１時間放置してください］と表示されます。ただし、レンズの結露では表示は出ません。

結露が起きたときは
カセットは直ちに取り出してください。警告表示が出ている間は、開く/カセット取出しつまみ以外は働きません。
電源を切ってカセットカバーを開けたまま、結露がなくなるまで（約1時間）放置してください。電源を入れてもお知らせメッセージが出ず、カセットを入れてビデオ操作ボタンを押しても◙や⏏が点滅しなければ使えます。
結露気味のときは、本機が結露を検出できないことがあります。このようなときは、カセットカバーを開けてから約10秒間カセットが出てこないことがありますが、故障ではありません。カセットが出てくるまでカセットカバーを閉めないでください。

結露が起こりやすいのは
以下のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。
- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スコールや夏の夕立の後
- 温泉など高温多湿の場所

結露を起こりにくくするために
本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

◆ビデオヘッドについて

- ビデオヘッドが汚れると、正常に録画できなかったり、ノイズの多い再生画像になったり、音声が途切れたりします。
- 以下のような症状になったときは、別売りの乾式クリーニングカセットMGRCLDを使ってヘッドをきれいにしておきましょう。

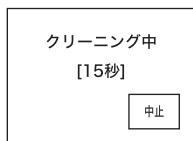
次のページへつづく➡

ー再生画面に次のような四角いノイズが出る、または青１色の画面になる。

ー再生画面の一部が動かない。
ー再生画像が出ない、または音声が途切れる。
ー録画中に［⊗ ヘッドが汚れています クリーニングカセットを使ってください」と表示される。

- ビデオヘッドは長時間使うと摩耗します。クリーニングカセットを使っても鮮明な画像に戻らないときは、ヘッドの摩耗が考えられます。このときは、ヘッドの交換が必要です。テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

◆クリーニングカセット使用方法について

1 電源スイッ チを「撮る-テープ」または「見る/編集」にする。
2 クリーニングカセットを本機に入れる。
3 液晶画面の［実行］をタッ チする。
［クリーニング中］が表示されます。

クリーニングが終了すると［クリーニングテープを取り出してください］と表示されます。
4 クリーニングカセットを取り出す。

クリーニングを中止するには
［中止］をタッ チする。

ご注意

- ビデオヘッドをクリーニングするときは、クリーニングカセット以外は使わないでください。
- 「撮る-メモリー」のときはクリーニングカセットは使用できません。

ちょっと一言

- クリーニングテープを使い切ると［クリーニングテープが終わっています　取り出してください］と表示されます。

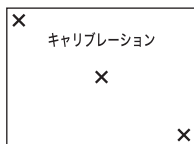
◆液晶パネルについて

- 液晶画面を強く押さないでください。
画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて見えることがありますが、異常ではありません。
- 使用中、液晶画面のまわりが熱くなりますが、故障ではありません。

お手入れ

- 液晶パネルに指紋やゴミが付いて汚れたときは、付属のクリーニングクロスを使ってきれいにすることをおすすめします。
別売りの液晶クリーニングキットを使うときは、クリーニングリキッドを直接液晶パネルにかけず、必ずクリーニングペーパーに染み込ませて使ってください。

画面調節（キャリブレーション）について
タッ チパネルのボタンを押したとき、反応するボタンの位置にずれが生じることがあります。このような症状になったときは、以下の操作を行ってください。電源は付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください。

1 電源スイッ チを「（充電）切」にする。
2 本機をACアダプター以外のケーブル類やハンディカムステーションから外し、カセットと“ メモリースティック デュオ ”を取り出す。
3 本機の画面表示/バッテリーインフォボタンを押しながら、電源スイッ チを「見る/編集」にする。［キャリブレーション］が表示されるまで画面表示/バッテリーインフォボタンを約５秒間押し続ける。
4 “ メモリースティック　デュオ ” の角を使って、画面に表示される×マークを押す。
×マークの位置は変わります。

正しい位置を押さなかった場合、やり直しになります。

ご注意

- 液晶パネルを外側に向けて本体に閉じたときは、キャリブレーションできません。

◆本機表面のお手入れについて

汚れがひどいときは、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下は避けてください。

ーシンナー
ーベンジン
ーアルコール
ー化学ぞうきん
ー殺虫剤のような揮発性のもの
ーゴムやビニール製品との長時間の接触

◆レンズのお手入れと保管について

- レンズ面に指紋などが付いたときや、高温多湿の場所や海岸など塩の影響を受ける環境で使ったときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。
- 風通しの良いゴミやほこりの少ない場所に保管してください。
- カビの発生を防ぐために、上記のお手入れは定期的に行ってください。
- 本機を良好な状態で長期にわたって使っていただくためにも、月に1回程度、本機の電源を入れて操作することをおすすめします。

◆内蔵の充電式ボタン電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式ボタン電池を内蔵しています。充電式ボタン電池は本機を使っている限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し、**3ヶ月**近くまったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使ってください。
ただし、充電式ボタン電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使えます。

充電方法

本機を付属のACアダプター、ハンディカムステーションを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、電源スイッチを「（充電）切」にして24時間以上放置する。

その他

主な仕様

◆システム

録画方式	回転2ヘッドヘリカルスキャン
静止画記録方式*	Exif Ver.2.2
録音方式	MPEG1 Audio Layer2（48 kHz）
映像信号	NTSCカラー、EIA標準方式
使用可能カセット	マークのついたMICROMVカセット
テープ速度	約5.66 mm/秒
録画・再生時間	60分（MGR60使用時）
早送り、巻き戻し時間	約1分30秒（MGR60使用時）
撮像素子	3.6 mm（1/5.0型）CCD固体撮像素子 総画素数：約107万画素 静止画時有効画素数：約100万画素 動画時有効画素数：約69万画素
ズームレンズ	カール ツァイス　バリオゾナー 10倍（光学）、120倍（デジタル） f=3.2～32 mm 35mmカメラ換算では 「撮る-テープ」時：46～460 mm 「撮る-メモリー」時：38～380 mm） F 1.8～2.3
色温度切り換え	オート、ホールド、オクナイ（3 200 K）、 オクガイ（5 800 K）
最低被写体照度	15 lx（ルクス）（F 1.8）

* （社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる静止画用のファイルフォーマット。

◆入・出力端子

映像／音声端子	10ピン特殊コネクター 入力/出力自動切り換え 映像：1 Vp-p、75 Ω不平衡 Y出力　1 Vp-p 75Ω不平衡 C出力　0.286 Vp-p 75Ω不平衡 音声：327mV（47 kΩ負荷時）、入力インピーダンス47 kΩ以上、出力インピーダンス2.2 kΩ以下

◆液晶画面

画面サイズ	5.0 cm（2.0型）
総ドット数	211 200ドット 横960×縦220

◆電源部、その他

電源電圧	バッテリー端子入力7.2 V DC端子入力8.4 V
消費電力	3.8 W （バッテリー使用時、液晶画面明るさ標準）
動作温度	0℃～+40℃
保存温度	－20℃～+60℃
外形寸法	39×91×69 mm （最大突起部を除く）（幅×高さ×奥行き）
本体質量	約 230 g（本体のみ）
撮影時総質量	約 280 g （バッテリー NP-FF51、テープ（MGR60）を含む）
付属品	12ページをご覧ください。

◆ハンディカムステーション　入・出力端子

AUDIO/VIDEO端子	10ピン特殊コネクター 入力/出力自動切り換え 映像：1 Vp-p、75Ω不平衡 Y出力　1 Vp-p 75Ω不平衡 C出力　0.286 Vp-p 75Ω不平衡 音声：327 mV（47 kΩ負荷時）、入力インピーダンス47 kΩ以上、出力インピーダンス2.2 kΩ以下
USB端子	mini-B
i.LINK（MICROMV端子）	i.LINK（IEEE1394　4ピンコネクター S400）

◆ACアダプター　AC-L25A/L25B

電源	AC100～240V、50/60Hz
消費電力	18 W
定格出力	DC8.4 V、1.5 A
動作温度	0℃～+40℃
保存温度	－20℃～+60℃
外形寸法	約56×31×100 mm （最大突起部をのぞく） （幅×高さ×奥行き）
質量	約190 g（本体のみ）

◆リチャージャブルバッテリーパックNP-FF51

最大電圧	DC8.4 V
公称電圧	DC7.2 V
容量	5.6 wh（780 mAh）
最大外形寸法	約40.8×12.5×49.1 mm（幅×高さ×奥行き）
質量	約45 g
動作温度	0℃～+40℃
使用電池	Li-ion

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

◆保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入と記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。
このデジタルビデオカメラレコーダーは国内仕様です。海外で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスとその費用については、ご容赦ください。

◆アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
「故障かな？と思ったら」の項を参考にして故障かどうかお調べください。
それでも具合の悪いときは
テクニカルインフォメーションセンター（裏表紙）にお問い合わせください。

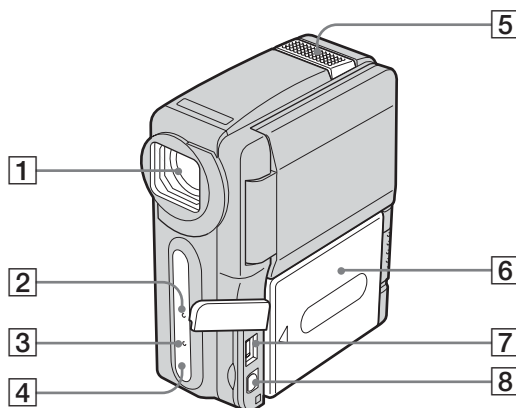
保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社はデジタルビデオカメラレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能な場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

部品の交換について
この製品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

各部のなまえ

本体

1 **レンズ（カール ツァイスレンズ搭載）/ レンズカバー**
本機はカール ツァイスレンズを搭載し、繊細な映像表現を可能にしました。本機用に生産されたレンズは、ドイツ　カール ツァイスとソニーで共同開発した、MTF測定システムを用いてその品質を管理され、カール ツァイスレンズとしての品質を維持しています。
MTF＝Modulation Transfer Functionの略。被写体のある部分の光を、画像の対応する位置にどれだけ集められるかを表す数値

2 **録画ランプ（20ページ）**

3 **CHG（充電）ランプ（13ページ）**

4 **リモコン受光部**

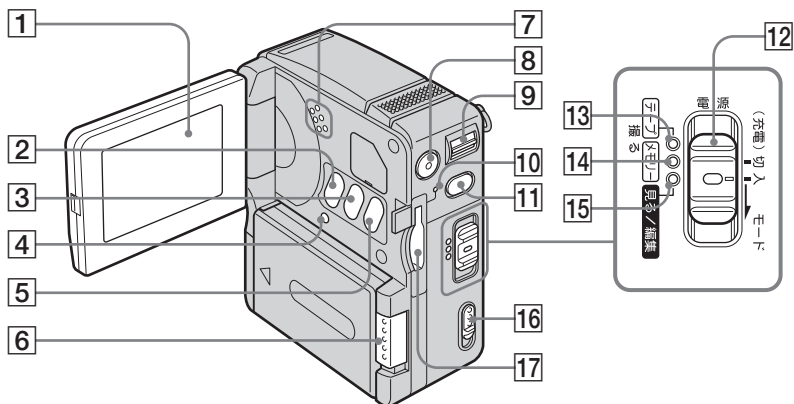
5 **内蔵ステレオマイク**

6 **バッテリーパック/バッテリー端子カバー**

7 **DC IN端子**

8 **映像/音声端子**

ちょっと一言

- レンズカバーは、電源スイッチを「撮る-テープ」または「撮る-メモリー」にすると開き、「見る/編集」にすると閉じます。

1 **液晶画面/タッチパネル（3、16ページ）**

2 **液晶画面バックライトボタン**
液晶画面バックライトボタンを押すとバックライトが消えて、OFF が表示されます。もう一度押すとバックライトがつきます。

3 **画面表示/バッテリーインフォボタン（14ページ）**

4 **RESET（リセット）ボタン**
RESETボタンを押すと、日時を含めパーソナルメニュー項目以外のすべての設定が解除されます。

5 **逆光補正ボタン（27ページ）**

6 **BATT（バッテリー取り外し）つまみ（13ページ）**

7 **スピーカー**

8 **スタート/ストップボタン（20ページ）**

9 **ズームレバー（22ページ）**

10 **アクセスランプ（19ページ）**

11 **フォトボタン（24ページ）**

12 **電源スイッチ（16ページ）**

13 **撮る-テープランプ**

14 **撮る-メモリーランプ**

15 **見る/編集ランプ**

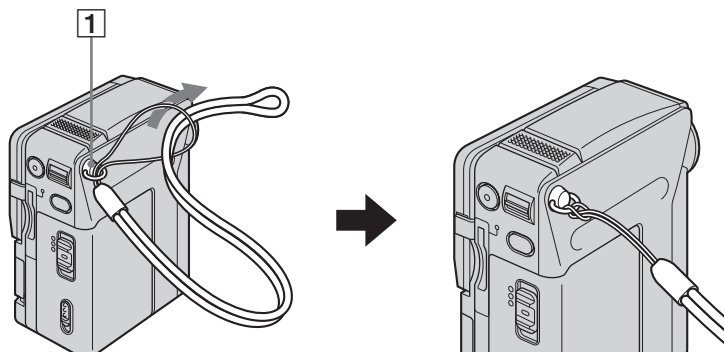
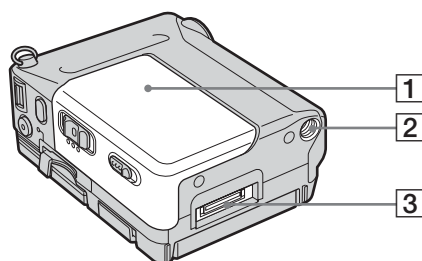
16 開く/カセット取出し **つまみ（18ページ）**

17 **“メモリースティック”スロット（19ページ）**

各部のなまえ・索引

次のページへつづく➡

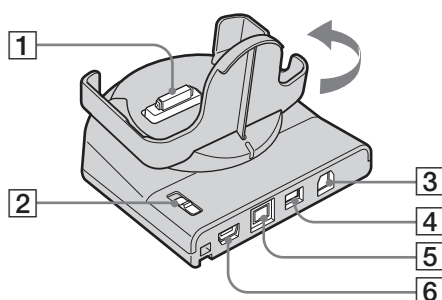
◆ハンドストラップ取りつけ部

ハンドストラップ（付属）を取りつける

1 **ハンドストラップ取りつけ部**

1 **カセットカバー**

2 **三脚用ネジ穴**

三脚を使うときは、ネジの長さが5.5mm以下のものを使ってください。ネジの長い三脚ではしっかり固定できず、本機を傷付けることがあります

3 **インターフェースコネクタ**

ハンディカムステーション

1 **インターフェースコネクタ**

2 **ψ（USB）ON/OFFスイッチ**
USB接続時は、ψ（USB）ON/OFFスイッチをONにして使用してください。

3 **AUDIO/VIDEO端子（41、69ページ）**

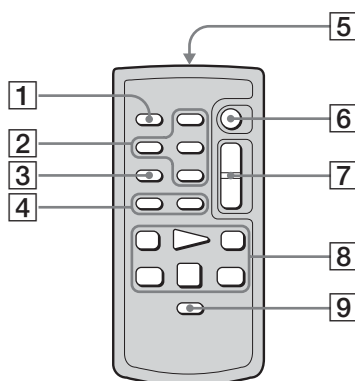
4 **DC IN端子（13ページ）**

5 **i MICROMV端子（41、69ページ）**

6 **ψ(USB)端子**

ちょっと一言
- ハンディカムステーションの本体装着部分は、矢印の方向に90度回転します。

ワイヤレスリモコン

絶縁シートを引き抜いてからリモコンを使ってください。

1 **フォトボタン（24、26ページ）**

2 **メモリー操作ボタン**（インデックス・－/＋・再生）**（37ページ）**

3 **サーチ選択ボタン（43、43ページ）**

4 **⏮ ⏭ボタン（43、43ページ）**

5 **リモコン発光部**
リモコンの光がリモコン受光部にあたる位置に本体を向けてください。

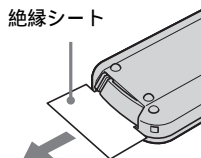
6 **スタート/ストップボタン（20ページ）**

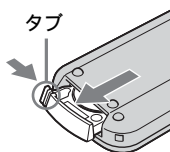
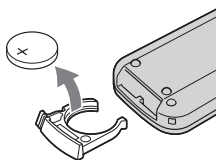
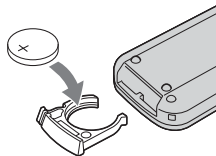
7 **ズームボタン（22ページ）**

次のページへつづく➡

8 **ビデオ操作ボタン（巻戻し・再生・早送り・一時停止・停止・スロー）（36ページ）**

9 **画面表示ボタン（40ページ）**

◆絶縁シートの抜きかた

◆電池を交換するには

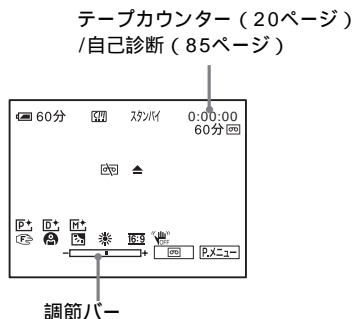
1 電池ケース のタブを内側に押しながら、溝に爪をかけて引き出す。

2 ボタン型リチウム電池を取り出す。

3 ＋面を上にして新しいボタン型リチウム電池を入れる。

4 電池ケースを本体に戻す。「カチッ」と音がするまで差し込む。

リモコンについてのご注意

- リモコンには、ボタン型リチウム電池（CR2025）が内蔵されています。CR2025以外の電池を使用しないでください。
- 本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにしてください。リモコン操作ができないことがあります。
- 付属のリモコンで本機を操作しているときに、ほかのビデオデッキが誤動作することがあります。その場合、ビデオデッキのリモコンモードスイッチをVTR2以外のモードに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさいでください。

液晶画面の表示

撮影中や再生中、下記の表示やアイコンが表示されます。

例：電源スイッチが「撮る-テープ」のとき

表示	意味
60分	バッテリー残量（20ページ）
	マイクロカセットメモリー（20ページ）
スタンバイ/●録画	撮影スタンバイ/撮影中（20ページ）
PAL	PAL方式映像（82ページ）
STD、FINE	画質（51ページ）
1152 640	画像サイズ（52ページ）
SFN FINE STD LIGHT	録画モード（52ページ）
101 101	記録先フォルダ（54ページ）/再生フォルダ（54ページ）
	画像削除（74ページ）
	画像プロテクト（76ページ）
	プリントマーク（77ページ）
60分	テープ残量（20ページ）
all 1	スライドショー（56ページ）
BRK	連写（51ページ）
	セルフタイマー（23、25ページ）
	インターバル静止画記録（57ページ）

表示	意味
OFF	液晶画面バックライト「切」（103ページ）
MPEG IN	MPEG入力（71ページ）
⏏	警告（85ページ）
	Color Slow Shutter（28ページ）
M	メモリーミックス（32ページ）
D	デジタルエフェクト（31、36ページ）
P	ピクチャーエフェクト（55ページ）
	手動フォーカス（29ページ）
	プログラムAE（47ページ）
	逆光補正（27ページ）
HOLD	ホワイトバランス（48ページ）
16:9	ワイドTV（50ページ）
OFF	手ぶれ補正「切」（50ページ）

各部のなまえ・索引

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ラ行

ワ行

アルファベット順

各部のなまえ・索引

カスタマー登録のご案内

ソニーではハンディカムをお買い上げの皆様へのサポートをより充実させていくため、お客様に「カスタマーご登録」をお勧めしています。
詳しくは付属の「デジタルイメージング カスタマーご登録のお勧め」をご覧ください。

■ **カスタマーご登録およびご登録内容の変更はこちらのホームページから**
http://www.sony.co.jp/di-regi/

■ **カスタマーご登録に関するお問い合わせは**
ソニーマーケティング（株）カスタマー専用デスク
電話：　0466-38-1410
受付時間：　月～金曜日　午前10時～午後6時
（ただし、年末、年始、祝日を除く）

電話のおかけ間違いにご注意ください。

お問い合わせ窓口のご案内

■ **デジタルイメージングカスタマーサポート**
デジタルハンディカムとパソコンの接続方法や、最新サポート情報をご案内するホームページです。
http://www.sony.co.jp/support-di/

■ **テクニカルインフォメーションセンター**
ご使用上での不明な点や技術的なご質問のご相談、および修理受付の窓口です。
製品の品質には万全を期しておりますが、万一不具合が生じた場合は、「テクニカルインフォメーションセンター」までご連絡ください。修理に関するご案内をさせていただきます。
また修理が必要な場合は、お客様のお宅まで指定宅配便にて集荷にうかがいますので、まずお電話ください。

電話：0564-62-4979
受付時間：月～金曜日　午前9時～午後5時
（ただし、年末、年始、祝日を除く）
お電話される前にあらかじめ以下の内容をご用意いただきますとより迅速な対応が可能になります。

① **お客様のデジタルイメージングカスタマー ID**
（既にカスタマーご登録されたお客様にはカスタマー IDが発行されています）
② **本機の型名DCR-IP1および製造番号**
（保証書などに記載されています）

電話のおかけ間違いにご注意ください。

■ **ハンディカムホームページ**
ハンディカムの活用法やアクセサリー情報、パソコンへの画像取り込み方法を掲載しています。
http://www.sony.co.jp/cam/

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川6-7-35

http://www.sony.co.jp/

この説明書は100%古紙再生紙とVOC(揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan